

第 5 章 個別施設等の状況

1. 公共建築物

本項の説明

(1) 類型別分類について

ここでは、公共建築物を類型別に整理し掲載しています。公共建築物の類型については、18～19 ページに掲載している公共建築物の分類表を参照してください。

(2) 施設一覧について

公共建築物を小分類ごとに一覧にまとめています。ここでは、羽村市で保有する建築物のすべてを掲載しています。なお、供用施設（一つの公共建築物に複数の機能があるもの）については、類型別分類に沿って別々に掲載しています。

建物名・・・公共建築物の名称

建築年度・・・公共建築物の竣工年度（複数の棟からなる場合は主要な建物の建築年度）

耐震状況・・・耐震構造、診断予定、診断未定から選択

運営方法・・・直営、委託、指定管理、貸付から選択

地区・・・一中、二中、三中から選択

※市内全域を中学校区ごとに「一中」、「二中」、「三中」に分類しています。

延床面積・・・公共建築物の延床面積

※供用施設については、それぞれの施設ごとに按分しています。

コスト・・・平成 23 年度～平成 25 年度の 3 ヶ年の施設維持管理経費の平均値を掲載

※指定管理施設については、指定管理者負担の施設維持管理経費を用いています。

敷地面積・・・公共建築物が所在する敷地面積

敷地所有・・・市有地、民有地（有償）、民有地（無償）、公社所有

※民有地には国や東京都など公的団体からの借地を含みます。

※公社所有とは土地開発公社が代行取得しているものを指します。

(3) 現状に関する基本認識について

各施設の老朽化の状況など、建築物としての現状について掲載しています。

(4) 個別施設の状況について

各施設の状況について、3 つの分析パターンのうち最も適したパターンにより分析しています。

なお、分析パターンのうち、「利用 1 人（件）当たりコスト分析」を用いた施設については、1 日当たり平均利用者数の推移（平成 23 年度～平成 25 年度及び 3 ヶ年平均）について掲載しています。

分析パターン

(1) コスト効率分析

コストと利用度の相関関係から各施設を比較分析します。

視点	分析対象	該当小分類
コストに見合った施設利用がなされているかを施設間で相対比較する。	利用者数を把握することができ、小分類内の他施設との比較が有効な施設を対象とする。	地域集会施設(学習等供用施設含む)、児童館、学童クラブ、老人福祉センター

(2) 利用1人(件)当たりコスト分析

コストと利用者・利用件数の推移から施設を分析します。

視点	分析対象	該当小分類
コストに見合った施設利用がなされているか	利用者数を把握することができるが、他施設との比較が有効でない施設を対象とする。	連絡所、コミュニティセンター、その他教育施設、屋内スポーツ施設、保養施設、生涯学習センター、博物館、図書館、医療施設、産業系施設

(3) 延床面積当たりコスト分析

コストと延床面積から各施設を比較分析します。

視点	分析対象	該当小分類
スペースに見合った施設利用がなされているか。	利用者数が把握できない施設又は、利用者数を分析指標にすることができない施設を対象とする。	本庁舎等、消防施設、備蓄倉庫、清掃施設、公園内施設、公営住宅、小学校、中学校、保育園、障害福祉施設、保健センター、水道施設(水道事務所)、駅公衆トイレ、斎場・墓地、その他

個別施設の状況（類型別）

（１）行政系施設

① 庁舎等

ア．本庁舎等

【施設一覧】

建物名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
市役所本庁舎	昭和 54 年度	耐震構造	一部 委託	二中	12,455.50	115,722	9,009.03	市有地
市役所西分室	昭和 54 年度	耐震構造			995.97			
市役所分庁舎	昭和 56 年度	耐震構造			767.15	4,400	770.45	市有地
市役所第 2 車 庫棟	昭和 63 年度	耐震構造	直営	二中	108.00	754	299.00	民有地 (有償)
	昭和 63 年度	耐震構造	直営		54.00			

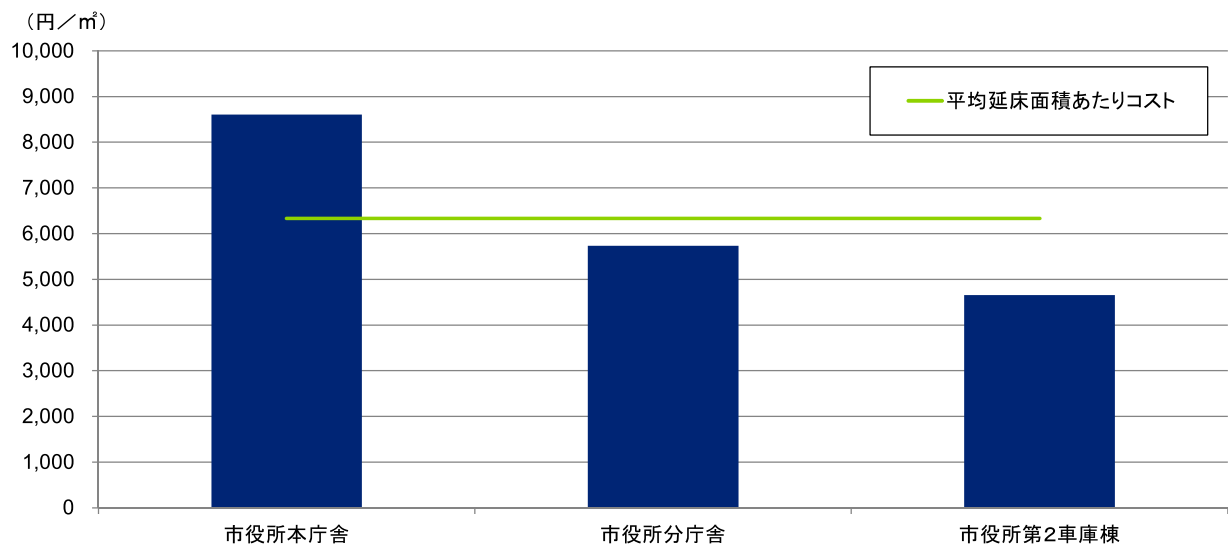
【現状に関する基本認識】

市役所本庁舎、西分室は昭和 54 年度、分庁舎は昭和 56 年度に建築されており、建築から 35 年程度経過していることから、今後、施設の老朽化対策に伴う経費の増加が見込まれます。

今後は、老朽化対策を計画的に進めていくとともに、維持管理に要するコストの縮減に努める必要があります。

【個別施設の状況】

延床面積当たりコスト



延床面積当たりコストの 3 施設平均値は 6,331 円/㎡であり、最も高い施設は市役所本庁舎で 8,603 円/㎡、最も低い施設は市役所第 2 車庫棟で 4,654 円/㎡となっています。

イ. 連絡所

【施設一覧】

建物名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
三矢会館連絡所	昭和 63 年度	耐震構造	直営	三中	29.81	1,816	1,487.00	市有地
羽村駅西口連絡所	—	—	直営	一中	25.00	1,081	—	—
小作台連絡所	—	—	直営	一中	42.29	2,422	—	—

【現状に関する基本認識】

三矢会館連絡所は、昭和 63 年度に建築され、耐震構造となっています。建築後 26 年の経過であり、直ちに老朽化への対応を行う必要はないと考えられますが、今後の施設の老朽化を見据え、維持管理費の平準化が図れるよう、検討・対応を進める必要があります。

羽村駅西口連絡所及び小作台連絡所は民間施設の一部に設置しているものであり、施設の更新等の検討は必要ありませんが、利用状況等を踏まえ、今後の方向性の検討が必要です。

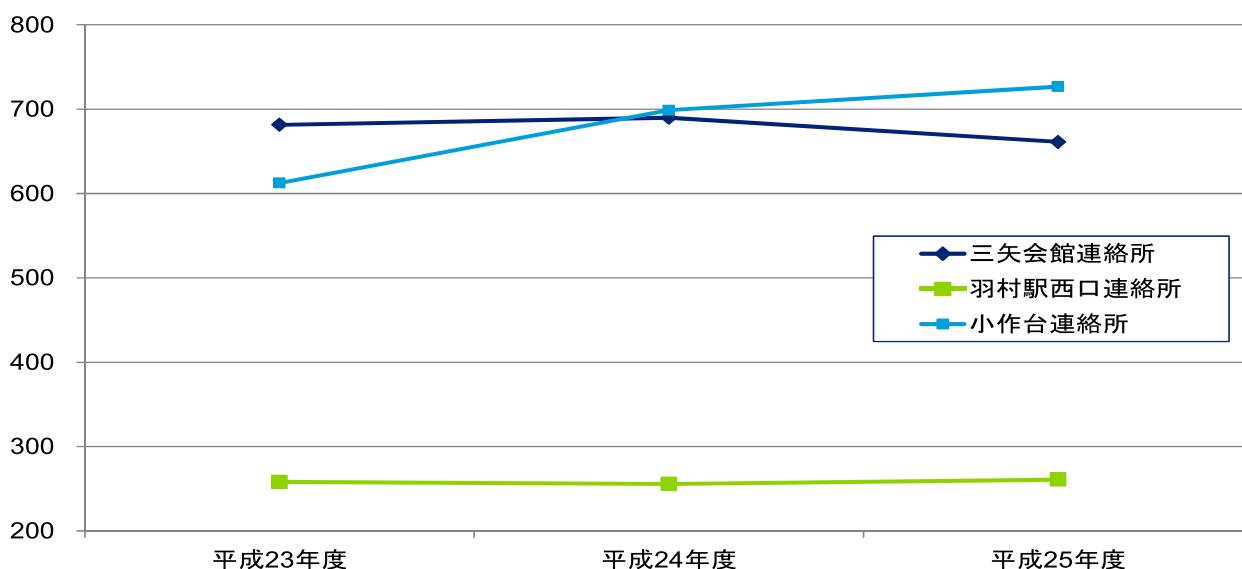
【個別施設の状況】

1 日当たり平均利用件数（証明書等年間発行件数／年間開館日数）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	3 カ年平均
三矢会館連絡所	11.0件	10.7件	11.3件	11.0件
羽村駅西口連絡所	17.4件	17.1件	17.1件	17.2件
小作台連絡所	16.3件	14.1件	13.8件	14.7件

(円／件)

利用 1 件当たりコスト



最近 3 年間の利用 1 件当たりの平均コストは、三矢会館連絡所で 678 円／件、羽村駅西口連絡所で 258 円／件、小作台連絡所で 679 円／件となっています。最近 3 年間では、コストに大きな変動はありません。

ウ. その他

【施設一覧】

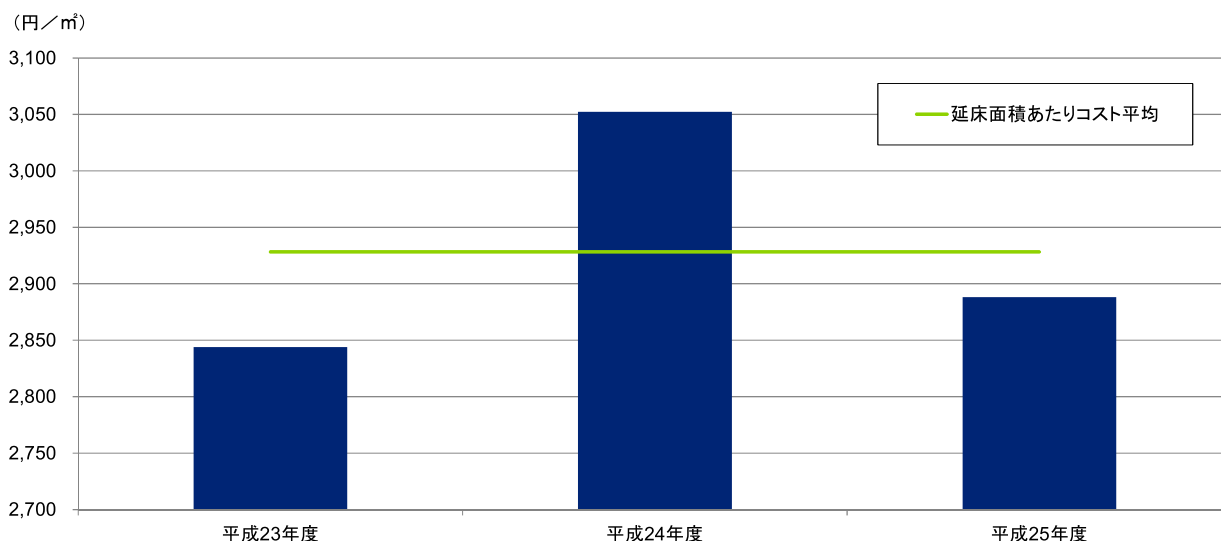
施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
羽村駅西口土地 区画整理事務所	平成 4 年度	耐震構造	直営	一中	249.64	731	550.86	市有地

【現状に関する基本認識】

羽村駅西口土地区画整理事務所は、平成 4 年度に建築され、耐震構造となっています。建築後 22 年の経過であり、直ちに老朽化への対応を行う必要はないと考えられますが、今後の施設の老朽化を見据え、維持管理費の平準化が図れるよう、検討・対応を進める必要があります。

【個別施設の状況】

延床面積当たりコスト



最近 3 年間の延床面積当たりの平均コストは 2,928 円/㎡となっています。平成 24 年度は電気料金の値上げ等によりコストが多く生じたため、平成 23 年度と比較して、7%ほど増加しましたが、平成 25 年度には同水準に落ち着いています。

② 消防施設

ア. 消防施設

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
第一分団消防車庫	昭和 58 年度	耐震構造	直営	一中	88.87	213	216.65	市有地
第二分団消防車庫	昭和 56 年度	耐震構造	直営	二中	80.77	396	90.25	市有地
第三分団消防車庫	昭和 57 年度	耐震構造	直営	一中	88.87	480	153.68	市有地
第四分団消防車庫	平成 3 年度	耐震構造	直営	一中	88.15	323	156.74	市有地
第五分団消防車庫	昭和 52 年度	診断予定	直営	一中	77.82	175	165.00	市有地
第六分団消防車庫	昭和 55 年度	診断予定	直営	一中	79.11	148	134.12	市有地

【現状に関する基本認識】

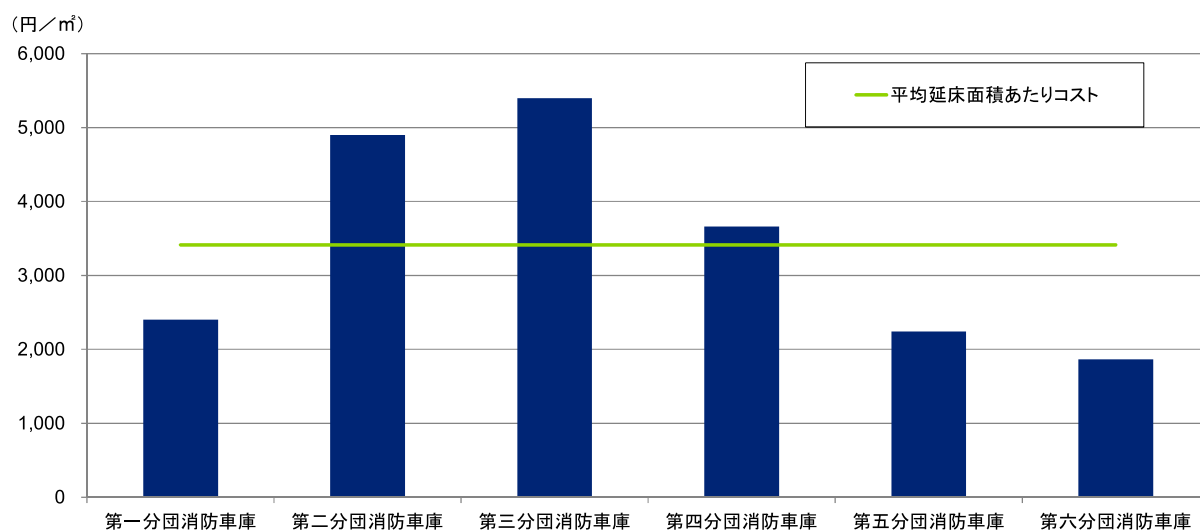
第一分団消防車庫など 6 つの消防車庫のうち、建築後 37 年の第五分団消防車庫をはじめ 5 つの消防倉庫が建築から 30 年以上経過しており、今後、施設の老朽化対策に伴う経費の増加が見込まれます。

また、第五分団消防車庫、第六分団消防車庫は、施設の耐震性を確認するため二次診断実施等の対策が必要です。

各施設の延床面積あたりコストを比較すると、最も高い施設と最も低い施設とではその差が約 3 倍となっており、コストの高い施設では、コストが高くなっている要因を把握し、コストの縮減を進める必要があります。

【個別施設の状況】

延床面積当たりコスト



延床面積あたりコストの 6 施設平均値は 3,412 円/㎡であり、最も高い施設は第三分団消防車庫で 5,397 円/㎡、最も低い施設は第六分団消防車庫で 1,867 円/㎡となっています。

③ 防災施設

ア. 備蓄倉庫

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
東部地域備蓄倉庫	平成 3 年度	耐震構造	直営	二中	199.64	195	346.61	市有地
中央地域備蓄倉庫	昭和 61 年度	耐震構造	直営	一中	148.70	193	424.57	市有地
小作台地域災害用 備蓄倉庫	平成 5 年度	耐震構造	直営	一中	209.70	194	474.86	市有地
清流地区備蓄倉庫	平成 24 年度	耐震構造	直営	一中	7.20	16	334.67	市有地

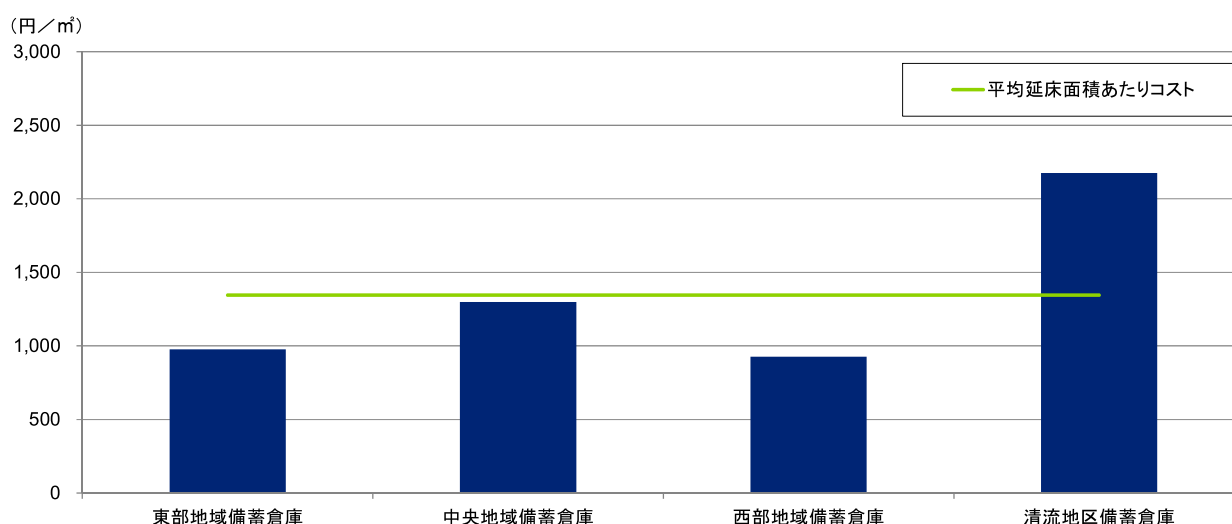
【現状に関する基本認識】

東部地域備蓄倉庫など 4 つの備蓄倉庫は、すべて耐震構造となっています。

建築からの経過年数はいずれも 30 年以内ですが、中央地域備蓄倉庫については建築後 28 年を経過しており、今後の施設の老朽化対策に伴う経費の増加について検討・対応を進める必要があります。他の施設についても、今後の施設の老朽化を見据え、維持管理費の平準化が図れるよう、検討・対応を進める必要があります。

【個別施設の状況】

延床面積当たりコスト



延床面積当たりコストの 4 施設平均値は 1,344 円/㎡であり、最も高い施設は清流地区備蓄倉庫で 2,176 円/㎡、最も低い施設は西部地域備蓄倉庫で 927 円/㎡となっています。

④ 清掃施設

ア. 清掃施設

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
リサイクルセンター	平成 7 年度	耐震構造	直営	三中	2,314.53	106,962	4,489.69	市有地
クリーンセンター	平成 5 年度	耐震構造	直営	三中	368.70	13,488	626.90	市有地
ストックヤード	平成 14 年度	耐震構造	直営	三中	675.91	2,544	2,904.37	市有地

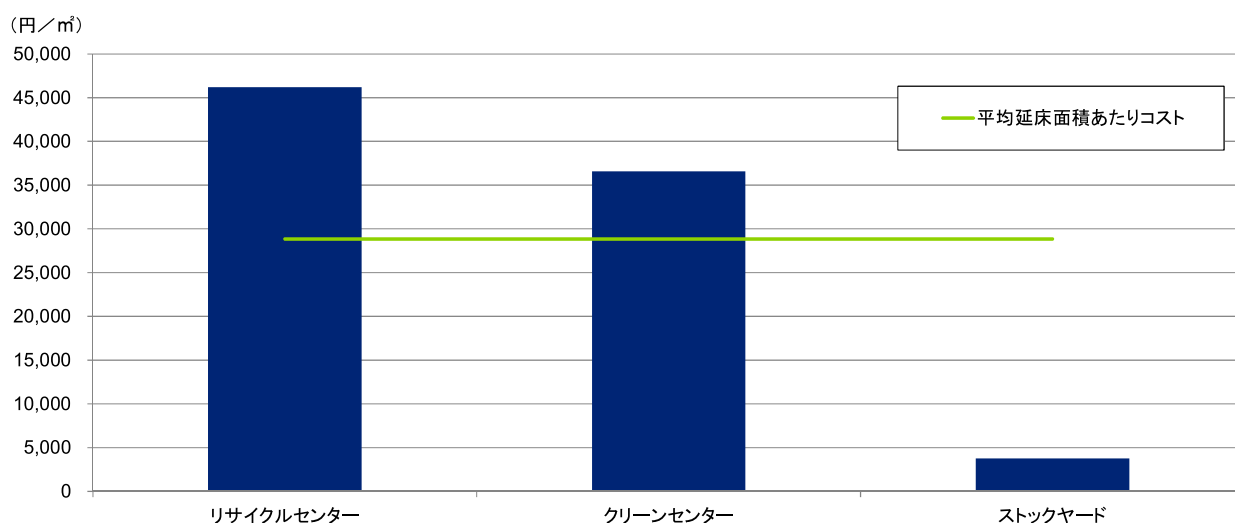
【現状に関する基本認識】

リサイクルセンターなど 3 つの清掃施設は、すべて耐震構造となっています。最も古い施設であるクリーンセンターで建築からの経過年数が 21 年といずれも比較的新しい施設であることから、直ちに老朽化への対応を行う必要はないと考えられます。

しかし、今後の施設の老朽化を見据え、維持管理費の平準化が図られるよう、検討・対応を進める必要があります。

【個別施設の状況】

延床面積当たりコスト



延床面積当たりのコストの 3 施設平均値は 28,853 円/㎡であり、最も高い施設はリサイクルセンターで 46,213 円/㎡、最も低い施設はストックヤードで 3,764 円/㎡となっています。

(2) コミュニティ・集会施設

① コミュニティ・集会施設

ア. コミュニティセンター

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
コミュニティセンターじゅらく苑	昭和 59 年度	耐震構造	直営	二中	1,908.44	30,851	1,436.93	市有地

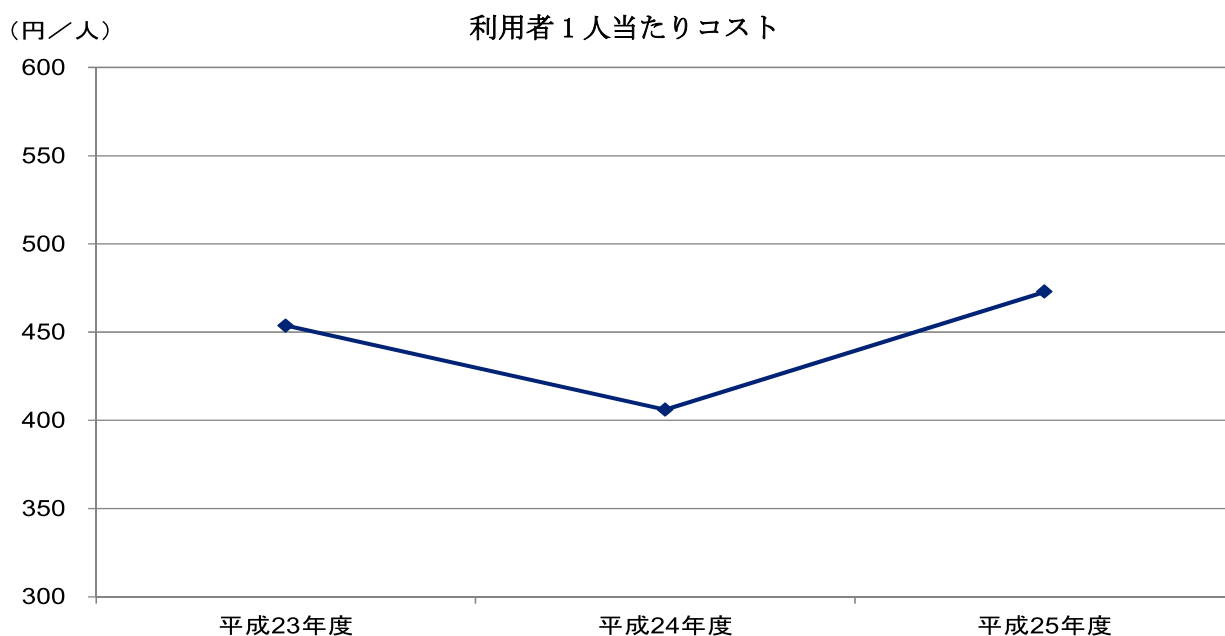
【現状に関する基本認識】

コミュニティセンターじゅらく苑は耐震構造となっていますが、昭和 59 年度に建築されてから、30 年が経過しており、今後の施設の老朽化対策に伴う経費の増加について検討・対応を進める必要があります。

【個別施設の状況】

1 日当たり平均利用者数（年間利用者数／年間開館日数）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	3 ヶ年平均
コミュニティセンターじゅらく苑	190.6人	214.0人	196.9人	200.5人



最近 3 年間の利用者 1 人当たりコストの平均は 444 円／人となっています。平成 24 年度は、コストは平年並みでしたが、利用者が増加したため 1 人当たりコストが減少しています。平成 25 年度は、平成 23 年度と同水準となっています。

イ．地域集会施設（学習等供用施設含む）

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
加美会館	昭和 45 年度	診断予定	委託	一中	537.40	1,927	661.00	市有地
栄会館	昭和 48 年度	診断予定	委託	二中	348.00	1,545	612.92	市有地
本町会館	昭和 49 年度	診断未定	委託	一中	261.00	1,040	363.00	市有地
神明台会館	昭和 50 年度	診断予定	委託	二中	250.00	1,068	908.54	市有地
緑ヶ丘会館	昭和 55 年度	診断予定	委託	二中	352.00	1,413	847.11	市有地
富士見平会館	昭和 53 年度	診断予定	委託	二中	480.40	1,549	660.75	市有地
小作本町会館	昭和 52 年度	診断予定	委託	一中	348.13	1,710	703.25	市有地
美原会館	昭和 53 年度	診断予定	委託	一中	237.77	724	420.40	市有地
中央館	昭和 44 年度	診断予定	委託	一中	668.22	2,414	795.99	市有地
川崎会館	昭和 60 年度	耐震構造	委託	一中	388.67	1,186	658.24	市有地
清流会館	昭和 58 年度	耐震構造	委託	一中	215.64	761	494.85	市有地
奈賀会館	昭和 56 年度	耐震構造	委託	一中	244.83	782	511.03	市有地
三矢会館	昭和 51 年度	診断予定	委託	三中	340.67	1,673	1,487.00	市有地
緑ヶ丘三町会館	平成 4 年度	耐震構造	委託	二中	164.37	541	467.52	市有地
田ノ上会館	平成 2 年度	耐震構造	委託	一中	102.05	710	389.38	市有地
東会館	平成 3 年度	耐震構造	委託	一中	321.10	1,212	529.05	市有地
小作台東会館	昭和 59 年度	耐震構造	委託	一中	357.42	849	462.27	市有地
小作台西会館	昭和 62 年度	耐震構造	委託	一中	383.75	1,829	504.17	市有地
五ノ神会館	昭和 46 年度	診断予定	委託	二中	537.18	5,862	593.46	民有地 (有償)
緑ヶ丘第二会館	平成元年度	耐震構造	委託	二中	94.40	2,143	407.00	民有地 (有償)
上水会館	平成 4 年度	耐震構造	委託	一中	154.02	544	579.65	市有地
天王台会館	昭和 57 年度	耐震構造	委託	一中	584.54	1,213	2,145.52	市有地
双葉町会館	平成 14 年度	耐震構造	委託	三中	236.83	751	446.79	市有地

【現状に関する基本認識】

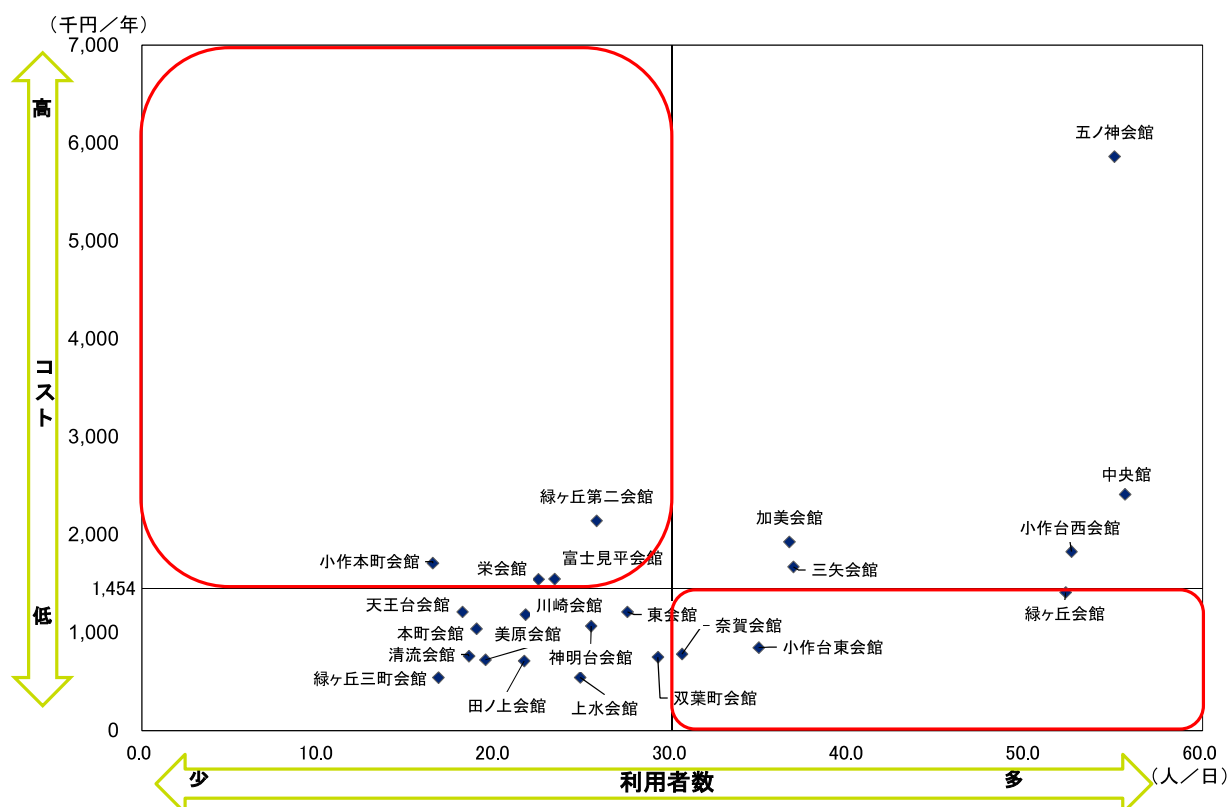
23 の地域集会施設（学習等供用施設含む）のうち、65.2%（15 施設）が建築から 30 年以上経過した施設であり、地域集会施設全体の老朽化が進んでいます。このため、今後、施設の老朽化対策に伴う経費の増加が見込まれます。特に、中央館、加美会館のように昭和 40 年代に建築された施設について、大規模改修等の老朽化対策の検討・実施が必要となります。

また、半数以上の施設で耐震状況の診断が行われておらず、早急な診断の実施、耐震化に向けた取組が必要です。

今後は、計画的な老朽化対策、耐震化対策の実施に加え、施設の利用向上に向けた取組や施設の効率的な管理・運営方法の検討を進める必要があります。

【個別施設の状況】

地域集会施設の利用者数とコスト



地域集会施設（学習等供用施設含む）の利用者数の全体平均は 29.7 人/日、運営管理費と減価償却費を合わせたコストの全体平均は 1,454 千円/年となっています。

このうち、利用者数が多くコストが低くなっているのは、緑ヶ丘会館、奈賀会館、小作台東会館です。

一方、利用者数が少ないにもかかわらずコストが高くなっているのは、栄会館、富士見平会館、小作本町会館、緑ヶ丘第二会館です。

(3) 公園内施設

① 公園内施設

ア. 公園内施設

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
動物公園 (管理棟)	昭和 52 年度	診断未定	指定 管理	三中	176.79	139,635	42,691.00	市有地 民有地 (無償)
動物公園 (トイレ)	昭和 60 年度	耐震構造			61.00			
動物公園 (トイレ)	平成 2 年度	耐震構造			35.80			
動物公園 (スタディ ホール)	平成 16 年度	耐震構造			699.44			
動物公園 (獣舎・そ の他)	—	—			1,096.80			
武蔵野公園 (トイレ)	昭和 60 年度	耐震構造	直営	二中	37.36	9,183	23,019.00	市有地
あさひ公園 (トイレ)	昭和 61 年度	耐震構造	直営	三中	49.50	4,416	15,381.00	市有地
富士見公園 (クラブハウス)	平成元年度	耐震構造	直営	二中	441.19	13,034	48,201.00	市有地
富士見公園 (トイレ)	昭和 46 年度	診断未定			4.70			
富士見公園 (トイレ)	昭和 60 年度	耐震構造			50.24			
富士見公園 (トイレ)	平成 7 年度	耐震構造			31.68			
富士見公園 (倉庫)	昭和 51 年度	診断未定			79.04			
旭ヶ丘公園 (トイレ)	昭和 61 年度	耐震構造	直営	一中	7.20	567	1,840.00	民有地 (無償)
神明台公園 (トイレ)	平成 4 年度	耐震構造	直営	二中	8.26	8,359	3,177.00	民有地 (有償)
水木公園 (トイレ)	昭和 63 年度	耐震構造	直営	二中 ・ 三中	27.30	5,016	18,417.00	市有地
神明児童公園 (トイレ)	平成 10 年度	耐震構造	直営	二中	10.07	430	1,456.00	市有地

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
松原児童公園 (トイレ)	平成 3 年度	耐震構造	直営	三中	25.44	654	2,117.00	市有地
やまぶき児童公園 (トイレ)	昭和 61 年度	耐震構造	直営	二中	24.23	762	2,804.00	市有地
かめの子児童公園 (トイレ)	平成 4 年度	耐震構造	直営	二中	20.25	638	2,386.00	市有地
ペリカン児童公園 (トイレ)	平成元年度	耐震構造	直営	二中	21.05	1,007	3,903.00	市有地
どんぐり山児童公園 (トイレ)	平成 2 年度	耐震構造	直営	二中	23.10	778	3,038.00	市有地
こんぴら山児童公園 (トイレ)	平成元年度	耐震構造	直営	二中	20.68	825	2,381.00	市有地
あかしあ児童公園 (トイレ)	昭和 62 年度	耐震構造	直営	一中	7.06	597	2,104.00	市有地
しらかば児童公園 (トイレ)	平成 3 年度	耐震構造	直営	一中	20.90	532	1,794.00	市有地
くすのき児童公園 (トイレ)	平成 2 年度	耐震構造	直営	一中	20.25	689	2,172.00	市有地
けやき児童公園 (トイレ)	平成 4 年度	耐震構造	直営	一中	20.24	669	2,105.00	市有地
さくら児童公園 (トイレ)	昭和 55 年度	診断未定	直営	一中	6.66	446	1,219.00	市有地
間坂コミュニティ 公園 (トイレ)	平成 7 年度	耐震構造	直営	一中	15.00	880	2,517.00	市有地
もみじ児童公園 (トイレ)	昭和 62 年度	耐震構造	直営	一中	27.71	466	529.00	市有地
川崎公園 (トイレ)	平成 7 年度	耐震構造	直営	一中	9.11	934	4,300.00	市有地
あけぼの杉児童公園 (トイレ)	平成 10 年度	耐震構造	直営	一中	7.92	522	1,600.00	市有地
羽ヶ上公園 (トイレ)	平成 10 年度	耐震構造	直営	一中	10.07	577	2,003.00	市有地
田の上公園 (トイレ)	平成 9 年度	耐震構造	直営	一中	10.24	876	3,484.00	市有地

施設名	建築年度	耐震状況	運営 方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
小作ふれあい公園 (トイレ)	平成 12 年度	耐震構造	直営	一中	5.87	286	530.00	市有地
双葉町公園 (トイレ)	平成 24 年度	耐震構造	直営	三中	7.99	369	1,295.00	市有地
天竺運動公園 (トイレ)	平成 3 年度	耐震構造	直営	一中	6.63	6,398	3,779.00	公社所有 民有地 (有償)
水上公園 (管理棟)	平成 8 年度	耐震構造	指定 管理	一中	725.00	23,695	9,575.00	市有地
水上公園 (トイレ)	平成 8 年度	耐震構造			95.00			
多摩川一里塚公園 (トイレ)	平成 10 年度	耐震構造	直営	一中	20.16	469	962.00	市有地 民有地 (無償)
グリーントリム公園 (トイレ)	昭和 60 年度	耐震構造	直営	一中	20.90	4,951	11,437.00	公社所有
宮地児童遊園 (トイレ)	平成 2 年度	耐震構造	直営	一中	3.14	366	1,578.00	市有地
なかよし児童遊園 (トイレ)	平成 7 年度	耐震構造	直営	一中	8.87	1,519	1,231.00	市有地 民有地 (有償)

【現状に関する基本認識】

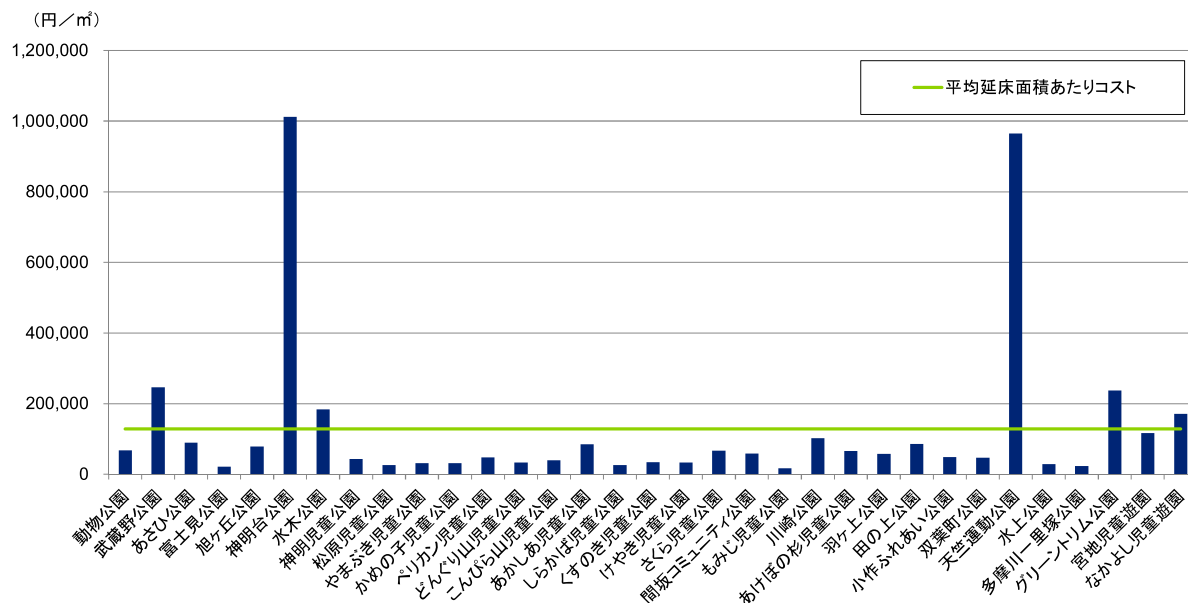
公園内施設のうち、動物公園（管理棟）、富士見公園（トイレ）、富士見公園（倉庫）、さくら児童公園（トイレ）の 3 施設が建築から 30 年以上経過しています。

また、この 3 施設については、耐震状況の診断が行われていません。このため、今後の施設の老朽化対策に伴う経費の増加について検討・対応を進めるとともに耐震状況の把握、耐震化に向けた取り組みが必要です。

その他の施設についても、建築年数が 30 年に近いものも多いため、公園内施設全体として、今後の施設の老朽化を見据え、維持管理費の平準化が図れるよう、検討・対応を進めるとともに、トイレの洋式化を計画的に進める必要があります。

【個別施設の状況】

延床面積当たりコスト



延床面積当たりコストの33施設平均値は127,830円/㎡であり、最も高い施設は神明台公園（トイレ）で1,012,025.8円/㎡、最も低い施設はもみじ児童公園（トイレ）で16,829円/㎡となっています。

神明台公園（トイレ）と天竺運動公園（トイレ）の延床面積あたりコストについては、他の施設と比べて大幅にコストがかかっていますが、これは、公園用地が有償の借地（天竺運動公園は一部）であるため、コストに賃借料を含むことによるものです。

なお、この2施設を除く31施設の延床面積あたりのコストの平均値は72,302円/㎡となっています。

(4) 公営住宅

① 公営住宅

ア. 公営住宅

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
富士見平高齢者住宅	平成 5 年度	耐震構造	直営	二中	387.84	10,051	441.02	民有地 (有償)
羽加美団地	平成 6 年度	耐震構造	直営	一中	978.30	1,389	1,042.92	市有地
美原団地	昭和 56 年度	診断予定	直営	一中	2,080.83	3,934	4,799.57	市有地
間坂団地	昭和 59 年度	耐震構造	直営	一中	1,779.87	3,130	3,169.97	市有地
玉川団地	昭和 45 年度	診断予定	直営	一中	714.10	1,215	975.99	市有地
栄町団地	昭和 53 年度	診断予定	直営	二中	1,681.99	3,158	1,793.80	市有地

【現状に関する基本認識】

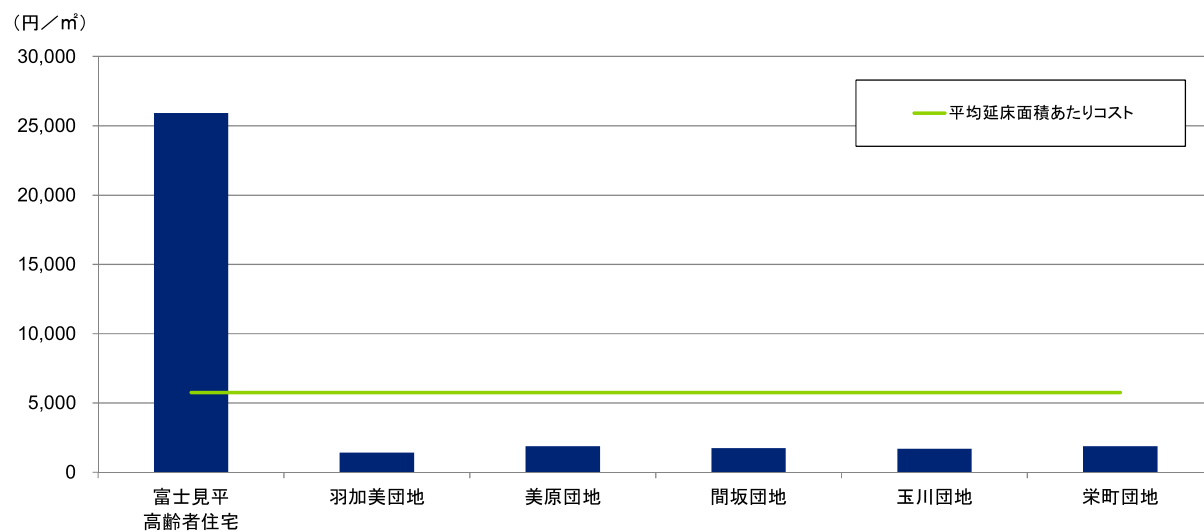
公営住宅については、過半数である 4 施設が建築から 30 年以上経過し、全体的に老朽化が進んでおり、今後、維持修繕費用の増加が見込まれます。また、バリアフリー化や断熱改修など、現在の社会水準に対応した住宅性能を確保していくことも課題となっています。

富士見平高齢者住宅については、他の市営住宅と比べて大幅に延床面積当たりのコストがかかっていますが、これは土地建物ともに有償で借用している借上げ公営住宅であるためで、毎年の賃借料がかかる一方で、初期投資や施設更新にかかる費用がかかりません。本住宅は、平成 26 年度に借上げ契約を更新し、10 年間の契約とし、借上げ料についても、公営住宅法に基づく客観的な家賃水準、いわゆる近傍同種家賃の基準に引き下げ運用していることから、実質的なコストは他の市営住宅と大きな違いはありません。

なお、耐震状況が診断予定となっている団地については、平成 26 年度に診断を実施します。

【個別施設の状況】

延床面積当たりコスト



延床面積当たりコストの6施設平均値は5,761円/㎡であり、最も高い施設は富士見平高齢者住宅で25,915円/㎡、最も低い施設は羽加美団地で1,420円/㎡となっています。

（５）学校・教育施設

①学校・教育施設

ア．小学校

【施設一覧】

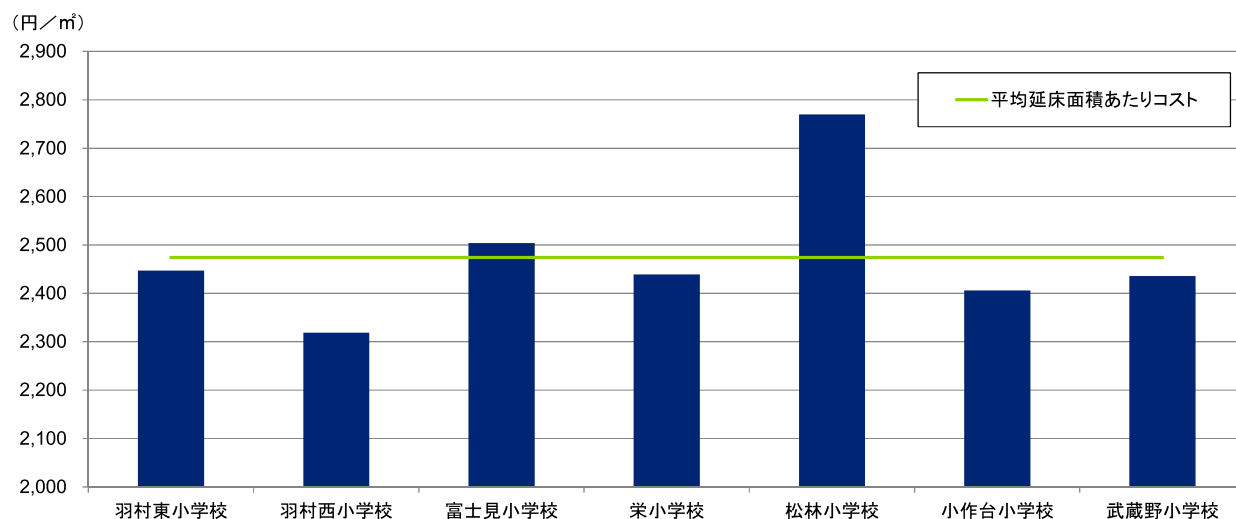
施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
羽村東小学校	昭和 40 年度	耐震構造	直営	一中	5,448.00	13,331	13,926.06	市有地
羽村西小学校	昭和 63 年度	耐震構造	直営	一中	5,752.00	13,336	14,360.67	市有地
富士見小学校	昭和 44 年度	耐震構造	直営	二中	6,251.00	15,653	12,304.00	市有地
栄小学校	昭和 46 年度	耐震構造	直営	二中	5,670.00	13,829	11,321.00	市有地
松林小学校	昭和 49 年度	耐震構造	直営	二中	5,533.00	15,326	16,001.00	市有地
小作台小学校	昭和 51 年度	耐震構造	直営	一中	4,802.00	11,553	11,550.00	市有地
武蔵野小学校	昭和 54 年度	耐震構造	直営	三中	5,897.00	14,364	15,709.88	市有地

【現状に関する基本認識】

7 つの小学校は、すべて耐震構造となっています。このうち最も古い施設である羽村東小学校は建築から 49 年が経過するなど、7 施設中 6 施設が建築から 30 年以上経過していることから、小学校施設は全体的に老朽化が進んでいる状況にあります。今後、施設の老朽化対策として維持管理のための経費増加や大規模改修による多額の経費の発生が見込まれるため、経費増加を見据えた計画的な対応の検討が必要となります。

【個別施設の状況】

延床面積当たりコスト



延床面積当たりコストの 7 施設平均値は 2,474 円/㎡であり、最も高い施設は松林小学校で 2,770 円/㎡、最も低い施設は羽村西小学校で 2,318 円/㎡となっています。

イ. 中学校

【施設一覧】

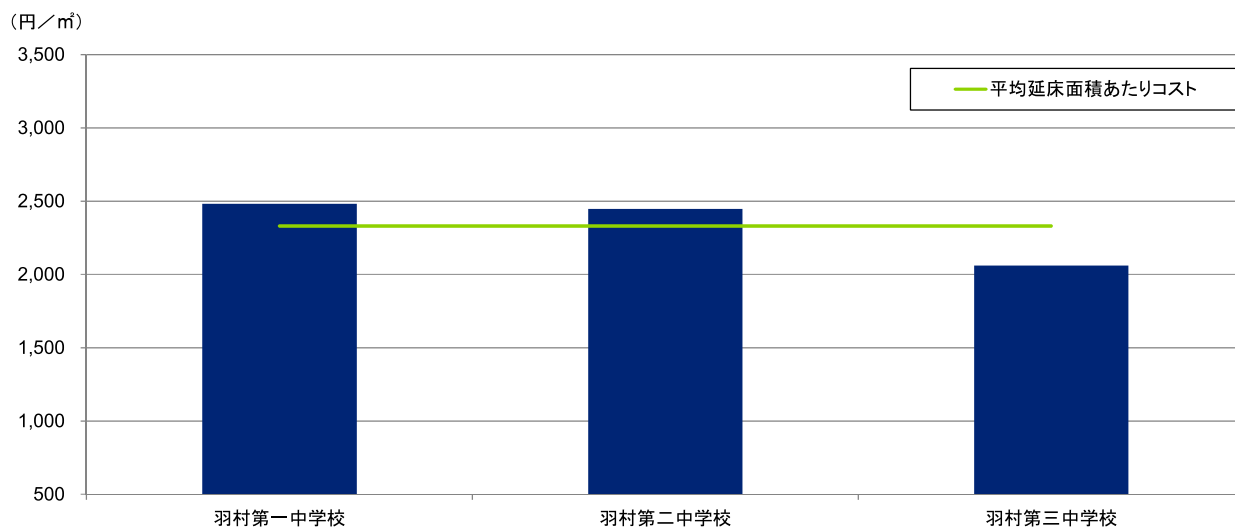
施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
羽村第一中学校	昭和39年度	耐震構造	直営	一中	8,650.00	21,472	22,483.00	市有地
羽村第二中学校	昭和46年度	耐震構造	直営	二中	8,791.00	21,524	14,977.01	市有地
羽村第三中学校	昭和57年度	耐震構造	直営	三中	9,138.00	18,824	23,354.00	市有地

【現状に関する基本認識】

中学校は、すべて耐震構造となっています。このうち最も古い施設である羽村第一中学校は建築から50年が経過するなど、すべての施設が建築から30年以上経過していることから、中学校施設は全体的に老朽化が進んでいる状況にあります。今後、施設の老朽化対策として維持管理のための経費増加や大規模改修による多額の経費の発生が見込まれるため、経費増加を見据えた計画的な対応の検討を進める必要があります。

【個別施設の状況】

延床面積当たりコスト



延床面積当たりコストの3施設平均値は2,330円/㎡であり、最も高い施設は羽村第一中学校で2,482円/㎡、最も低い施設は羽村第三中学校で2,060円/㎡となっています。

ウ. その他教育施設

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
教育相談室	平成9年度	耐震構造	直営	一中	389.86	27,033	957.97	市有地
八ヶ岳少年自然の家	昭和63年度	耐震構造	指定管理	山梨県	4,194.51	103,306	33,211.64	民有地 (有償)

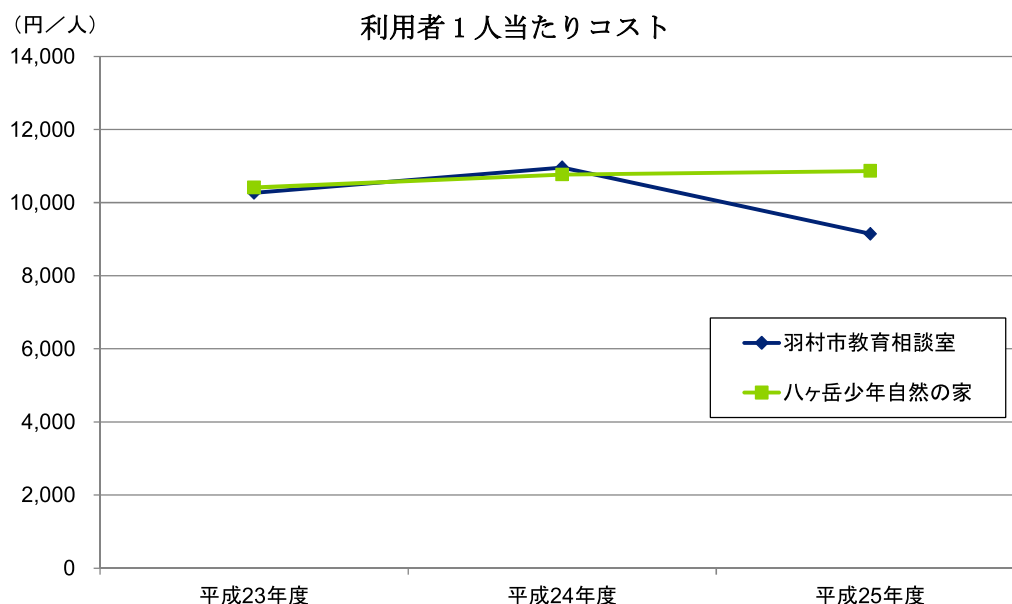
【現状に関する基本認識】

その他教育施設は、すべて耐震構造となっており、また、最も古い八ヶ岳少年自然の家が建築後26年と比較的新しい施設です。このため、直ちに老朽化への対応を行う必要はないと考えられますが、今後の施設の老朽化を見据え、維持管理費の平準化が図れるよう、検討・対応を進める必要があります。

【個別施設の状況】

1日当たり平均利用者数（年間利用者数／年間開館日数）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	3ヵ年平均
教育相談室	11.4人	10.2人	11.6人	11.1人
八ヶ岳少年自然の家	29.0人	26.9人	33.3人	29.7人



最近3年間の利用者1人当たりコストの平均は、教育相談室で10,126円／人、八ヶ岳少年自然の家で10,686円／人となっています。教育相談室に関しては、3年間で利用者数に大きな変動はありませんが、平成25年度にコストが減少していることから、利用者1人当たりコストが減少しています。一方、八ヶ岳少年自然の家に関しては、3年間で利用者1人当たりコストはほとんど変動していません。

(6) スポーツ・レクリエーション施設

① 屋内スポーツ施設

ア. 屋内スポーツ施設

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
スポーツセンター	昭和 56 年度	耐震構造	一部委託	一中	6,302.88	150,055	9,725.39	市有地
スイミングセンター	平成 2 年度	耐震構造	指定管理	二中	3,229.82	106,549	7,433.78	市有地
弓道場	平成 16 年度	耐震構造	指定管理	一中	232.20	873	1,599.05	民有地 (無償)

【現状に関する基本認識】

スポーツセンターなど 3 つの屋内スポーツ施設は、全て耐震構造となっています。

もっとも古い施設であるスポーツセンターは建築から 33 年が経過し、施設の老朽化対策としての維持管理経費の増加が見込まれています。

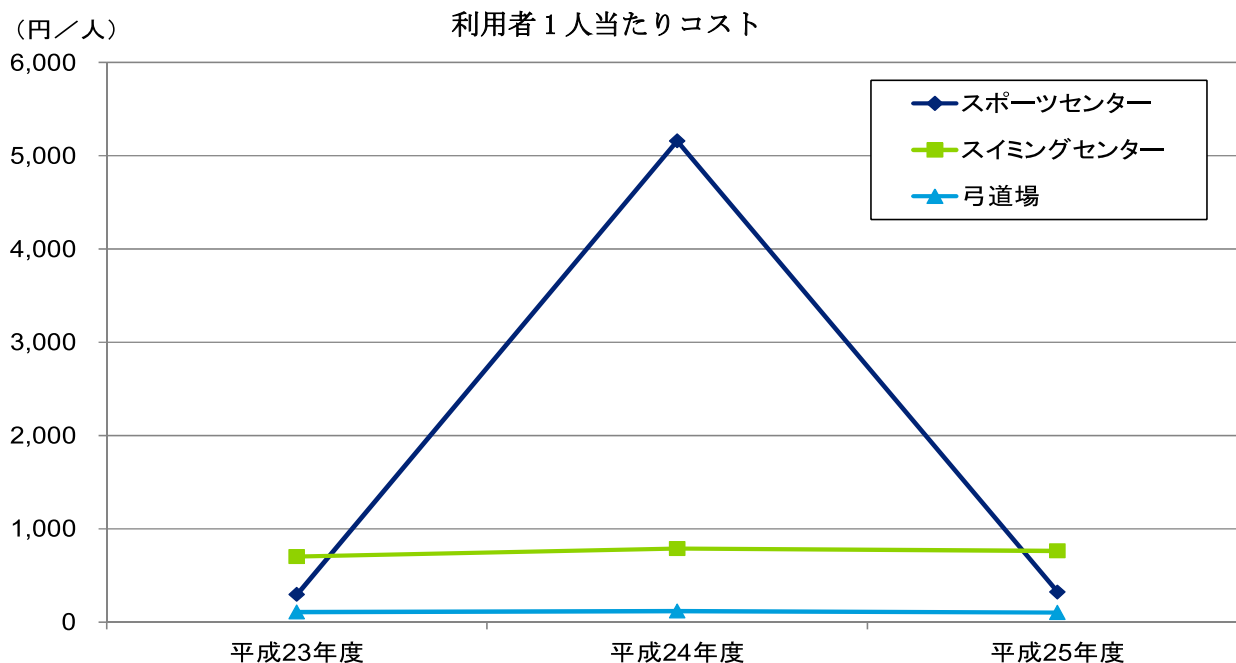
また、スイミングセンターについても、建築から 24 年の経過ではありますが、使用形態の特殊性（塩素などの化学薬品の使用）などから、他の施設に比べ施設の傷みが激しいため、維持管理経費の増加が見込まれますので、今後は、経費の増加を見据えた計画的な対応を検討することが必要になります。

弓道場については、今後の施設の老朽化を見据え、維持管理費の平準化が図れるよう、対応を検討する必要があります。

【個別施設の状況】

1 日あたり平均利用者数（年間利用者数／年間開館日数）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	3 ヶ年平均
スポーツセンター	485.8人	337.3人	410.6人	411.2人
スイミングセンター	478.0人	419.0人	458.0人	451.7人
弓道場	24.6人	25.0人	26.8人	25.5人



最近 3 年間の利用者 1 人当たりコストの平均は、スポーツセンターで平均 1,925 円／人、スイミングセンターで平均 751 円／人、弓道場で平均 110 円／人となっています。

スポーツセンターに関しては、利用者 1 人当たりコストが、平成 24 年度に大きく上昇していますが、これは、耐震改修工事を実施したことによるものです。

スイミングセンター及び弓道場に関しては、3 年間で利用者 1 人当たりコストはほとんど変動していません。

② 保養施設

ア. 保養施設

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
自然休暇村	昭和 63 年度	耐震構造	指定管理	山梨県	1,568.09	38,617	33,211.64	民有地 (有償)
自然休暇村 (別荘)	昭和 63 年度				406.69			
自然休暇村 (従業員宿舎)	平成 3 年度				333.08			

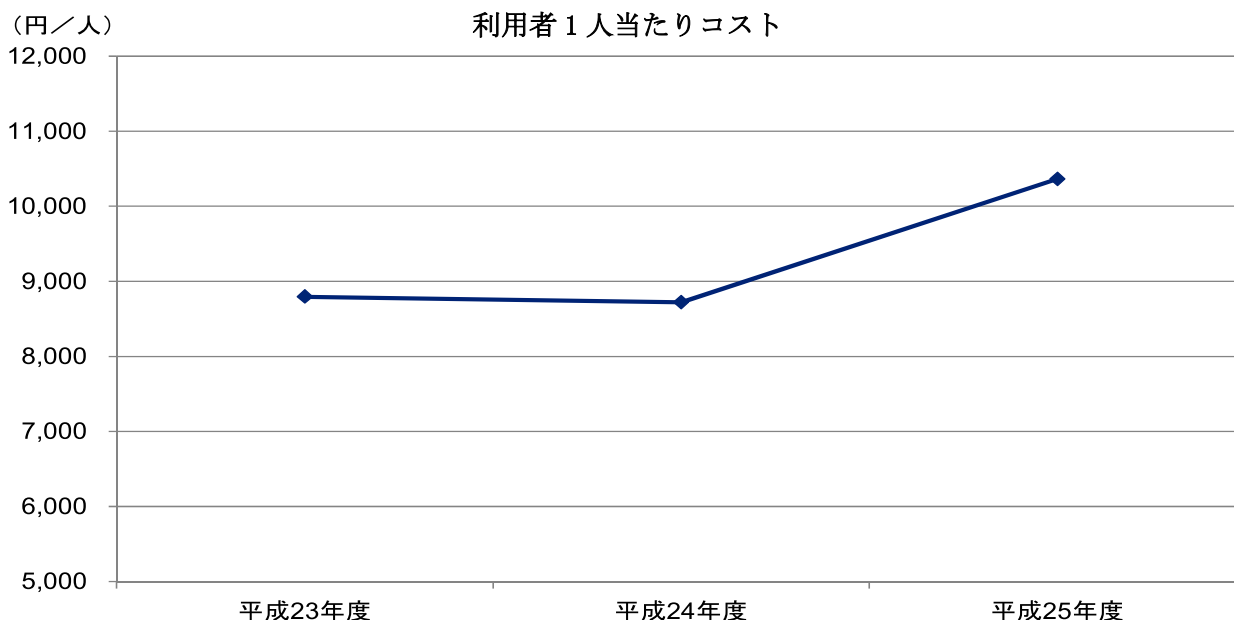
【現状に関する基本認識】

自然休暇村の施設は、すべて耐震構造となっています。最も古い施設は建築後 26 年であり、直ちに老朽化への対応を行う必要はないと考えられますが、今後の施設の老朽化を見据え、維持管理費の平準化が図れるよう、検討・対応を進める必要があります。

【個別施設の状況】

1 日当たり平均利用者数（年間利用者数／年間開館日数）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	3 ヶ年平均
自然休暇村	12.9人	12.4人	13.1人	12.8人



最近 3 年間の利用者 1 人当たりコストの平均は、9,294 円／人となっています。平成 25 年度は利用者が若干減少したことにより、利用者 1 人当たりコストが増加していますが、利用者が減少した主な要因は、ボイラー改修により 2 ヶ月間施設を閉館したことによるものです。

(7) 子育て支援施設

① 子育て支援施設

ア. 保育園

【施設一覧】

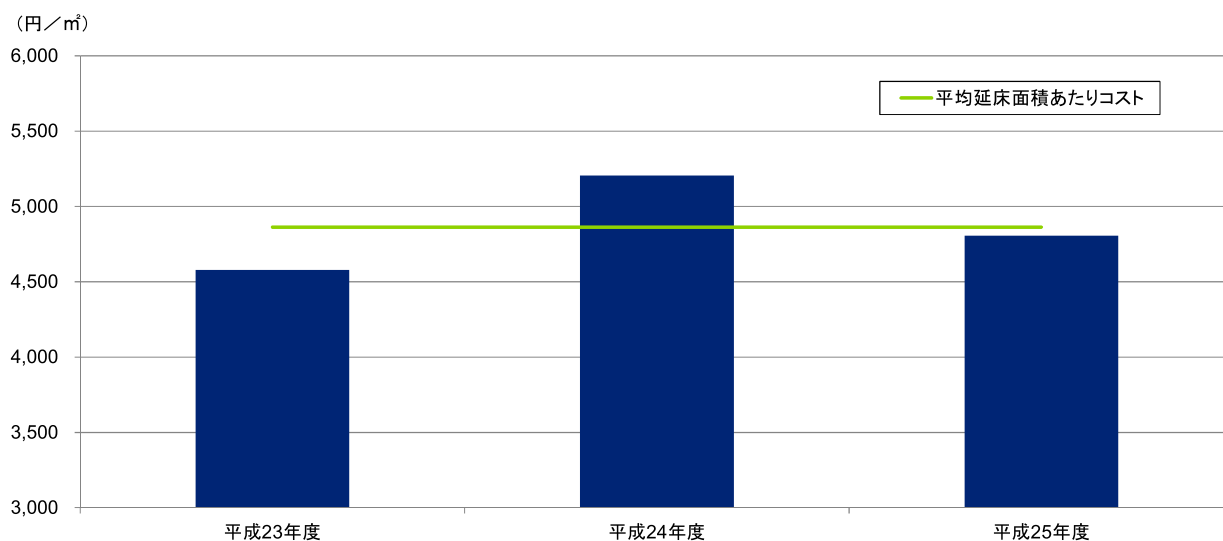
施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
しらうめ保育園	昭和 49 年度	診断未定	直営	一中	606.69	2,950	1,157.00	市有地

【現状に関する基本認識】

しらうめ保育園は、建築から 40 年が経過し施設の老朽化が進んでいますが、今後、平成 29 年度を目途に民営化し、移管先事業者による施設の改修を予定しています。

【個別施設の状況】

延床面積当たりコスト



最近 3 年間の延床面積当たりの平均コストは 4,863 円/㎡となっています。平成 24 年度は、平成 23 年度と比較して 13%ほどコストが増加していますが、これは、平成 24 年度に設備の修繕を実施したことによるものです。

イ. 児童館

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
中央児童館	昭和 56 年度	耐震構造	直営	一中	512.32	6,811	2,145.52	市有地
東児童館	平成 10 年度	耐震構造	直営	三中	1,554.41	6,888	1,235.99	市有地
西児童館	平成 3 年度	耐震構造	直営	一中	707.50	6,907	728.60	市有地

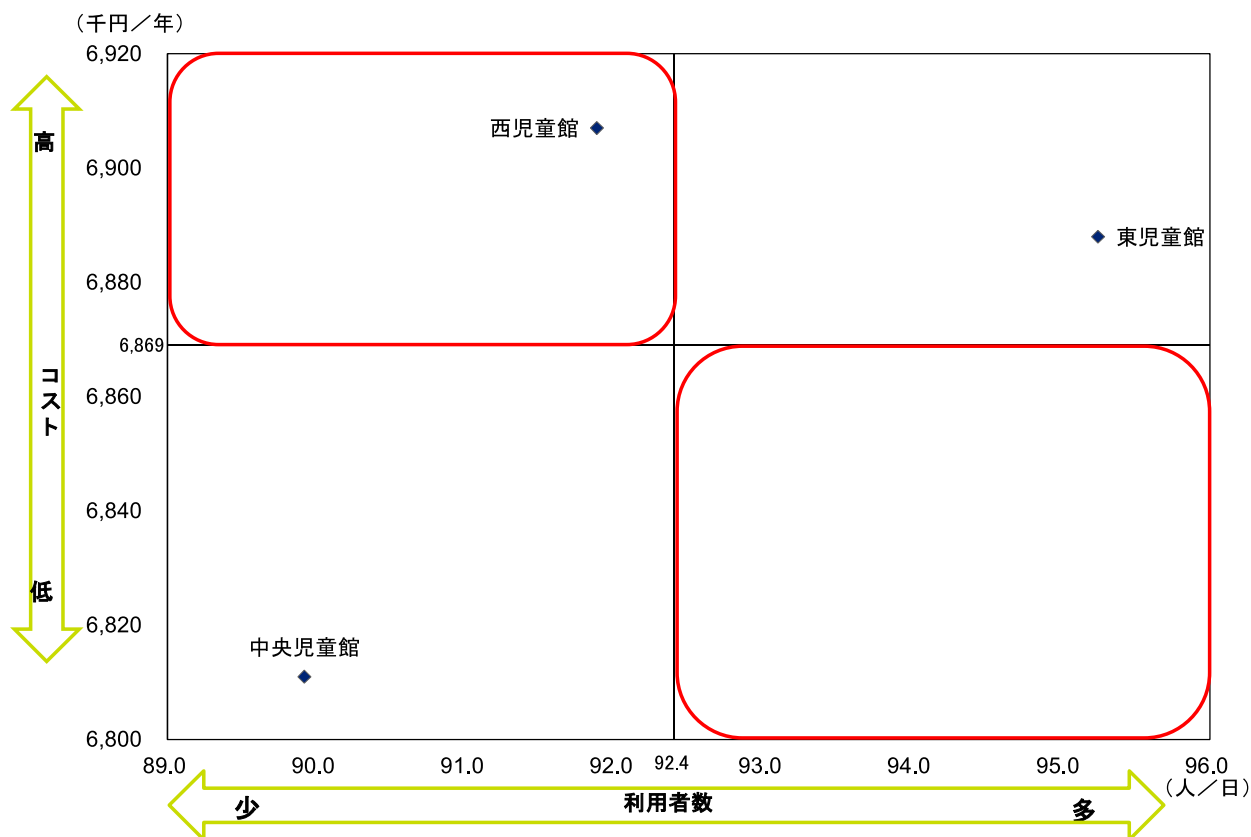
【現状に関する基本認識】

3つの児童館は、すべて耐震構造となっています。

最も古い施設である中央児童館は建築から 33 年が経過しており、今後、施設の老朽化対策として維持管理のための経費増加が見込まれるため、経費増加を見据えた計画的な対応の検討を進める必要があります。他の 2 施設については、直ちに老朽化への対応を行う必要はないと考えられますが、今後の施設の老朽化を見据え、維持管理費の平準化が図れるよう、検討・対応を進める必要があります。

【個別施設の状況】

児童館の利用者数とコスト



児童館の利用者数の全体平均は 92.4 人/日、コストの全体平均は 6,869 千円/年となっています。

ウ. 学童クラブ

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営 方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
東学童クラブ	昭和 63 年度	耐震構造	直営	一中	121.71	748	1,129.07	民有地 (無償)
奈賀学童クラブ	昭和 56 年度	耐震構造	直営	一中	85.39	247	2,145.52	市有地
松林学童クラブ	平成 12 年度	耐震構造	直営	二中	151.95	1,886	558.00	民有地 (有償)
小作台学童クラブ	平成 3 年度	耐震構造	直営	一中	91.80	237	728.60	市有地
小作台第二学童クラブ	平成 11 年度	耐震構造	直営	一中	249.78	574	339.08	市有地
西学童クラブ	平成 17 年度	耐震構造	直営	一中	178.99	737	500.81	市有地
富士見学童クラブ	昭和 60 年度	耐震構造	直営	二中	132.49	3,199	866.00	民有地 (有償)
富士見第二学童クラブ	平成 12 年度	耐震構造			57.96			
栄学童クラブ	昭和 62 年度	耐震構造	直営	二中	118.33	2,742	757.37	民有地 (有償)
栄第二学童クラブ	平成 23 年度	耐震構造			59.62			
武蔵野学童クラブ	平成 10 年度	耐震構造	直営	三中	100.81	468	1,235.99	市有地
武蔵野第二学童クラブ					52.55			

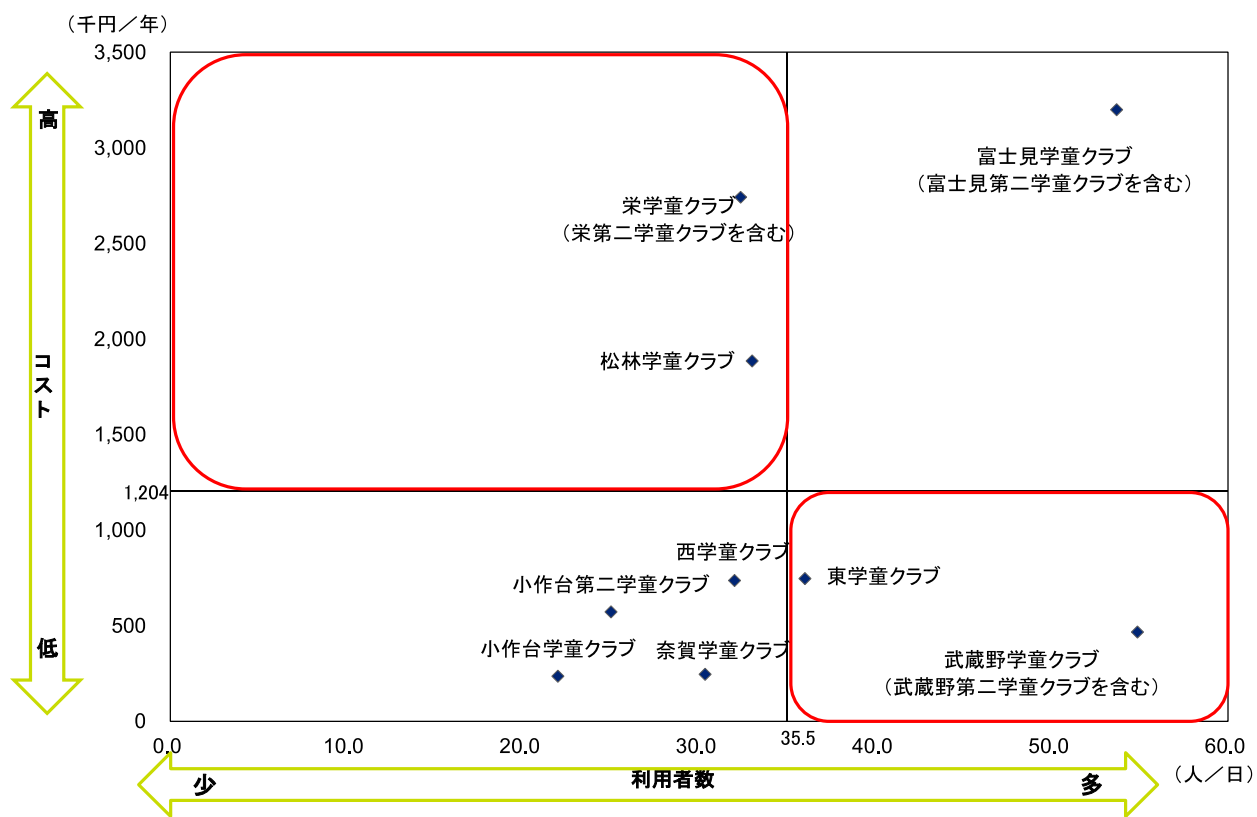
【現状に関する基本認識】

12 の学童クラブは、すべて耐震構造となっています。

比較的新しい施設が多い状況ですが、12 施設のうち、奈賀学童クラブは建築から 30 年以上が経過しており、今後、施設の老朽化対策として維持管理のための経費増加が見込まれるため、経費増加を見据えた計画的な対応の検討を進める必要があります。他の施設については、直ちに老朽化への対応を行う必要はないと考えられますが、今後の施設の老朽化を見据え、維持管理費の平準化が図れるよう、検討・対応を進める必要があります。

【個別施設の状況】

学童クラブの利用者数とコスト



学童クラブの利用者数の全体平均は 35.5 人/日、コストの全体平均は 1,204 千円/年となっています。

なお、松林学童クラブ、富士見学童クラブ（第二含む）、栄学童クラブ（第二含む）が他の施設と比較しコストが高くなっているのは、敷地が有償の借地となっていることによるものです。

(8) 保健・福祉施設

① 高齢福祉施設

ア. 老人福祉センター

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
高齢者在宅サービスセンターいこいの里	平成3年度	耐震構造	直営	一中	1,660.29	17,980	2,731.78	市有地
老人福祉センターじゅらく苑	昭和59年度	耐震構造	直営	二中	935.80	10,099	1,436.93	市有地

【現状に関する基本認識】

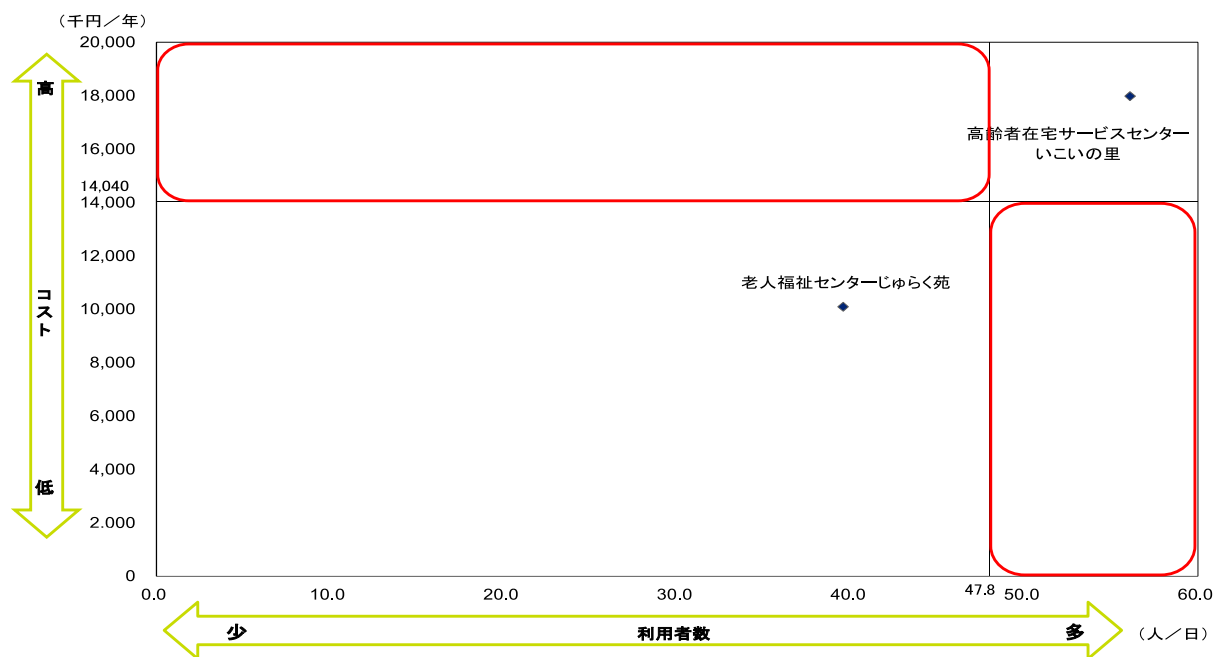
高齢者在宅サービスセンターいこいの里など2つの老人福祉センターは、いずれも耐震構造になっています。

高齢者在宅サービスセンターいこいの里は建築後23年、老人福祉センターじゅらく苑は建築後30年を迎え、いずれも直ちに老朽化への対応を行う必要はないと考えられますが、今後の施設の老朽化を見据え、維持管理費の平準化が図れるよう、検討・対応を進める必要があります。

高齢者在宅サービスセンターいこいの里と老人福祉センターじゅらく苑の延床面積当たりのコストは、いずれも11千円/㎡となっています。

【個別施設の状況】

老人福祉センターの利用者数とコスト



老人福祉センターの利用者数の全体平均は47.8人/日、コストの全体平均は14,040千円/年となっています。

イ. その他

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
老人福祉館 神明苑	昭和 47 年度	診断未定	直営	二中	230.44	539	330.00	民有地 (有償)
シルバー人材センター事務所	平成 4 年度	耐震構造	貸付	一中	526.07	24,471	1,695.25	市有地
シルバー人材センター分室	昭和 45 年度	診断未定	貸付	一中	252.90	547	296.00	民有地 (有償)

【現状に関する基本認識】

老人福祉館神明苑は建築後 42 年、シルバー人材センター分室は建築後 44 年、シルバー人材センター事務所は建築後 22 年経過しています。

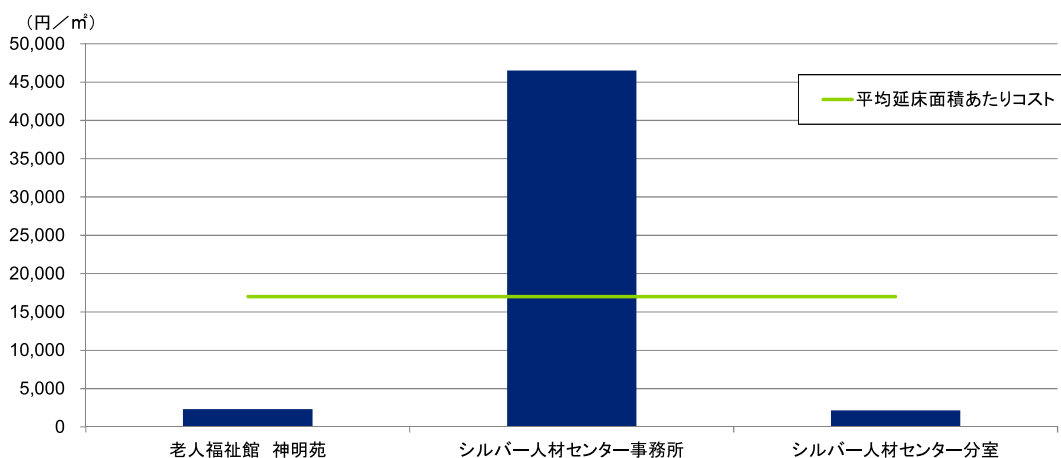
建築後 40 年を経過している老人福祉館神明苑及びシルバー人材センター分室は老朽化が進んでおり、早急に建替えや廃止を含めて、今後の施設のあり方を検討する必要があります。

シルバー人材センター事務所の延床面積当たりのコストが突出している要因は、他の施設とは、その目的や活用方法が異なっているからであります。

シルバー人材センターは、会員の就業により、平成 25 年度の契約実績は約 3 億円となっており、羽村市は、その事務を行っている人件費に対し補助金を支出しています。このことから、シルバー人材センターについては、他市等のシルバー人材センターのコストを調査し、比較・分析していく必要があります。

【個別施設の状況】

延床面積当たりコスト



延床面積当たりコストの 3 施設平均値は 17,005 円/㎡であり、最も高い施設はシルバー人材センターで 46,516 円/㎡、最も低い施設はシルバー人材センター分室で 2,162 円/㎡となっています。

② 障害福祉施設

ア. 障害福祉施設

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営 方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
福祉センター	平成 11 年度	耐震構造	委託	二中	3, 126. 15	214, 854	4, 627. 04	市有地
障害者宿泊訓練施設 「つくしの家」	平成 9 年度	耐震構造	貸付	三中	142. 67	1, 435	1, 241. 47	民有地 (有償)
福祉作業所スマイル 工房	昭和 44 年度	診断未定	貸付	一中	168. 00	0	449. 71	市有地
障害者就労支援 センターエール	平成 5 年度	耐震構造	委託	二中	115. 97	15, 808	276. 76	市有地

【現状に関する基本認識】

福祉センターなど 4 つの障害福祉施設があります。このうち、福祉作業所スマイル工房は建築後 45 年と老朽化が進んでおり、今後、施設の老朽化対策として維持管理のための経費増加が見込まれるため、経費増加を見据えた計画的な対応の検討を進める必要があります。

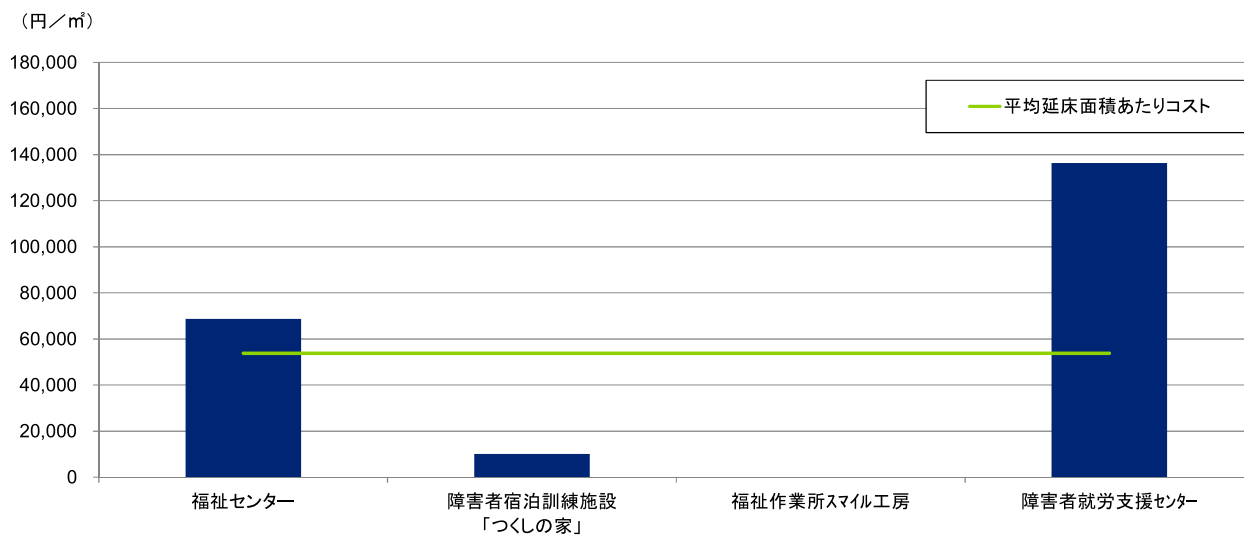
また、当該施設は耐震診断が未実施であり、安全面の確認が不十分な状況にあるため、早急な耐震状況の確認、耐震化の取組が必要です。他の施設は直ちに老朽化への対応を行う必要はないと考えられますが、今後の施設の老朽化を見据え、維持管理費の平準化が図れるよう、検討・対応を進める必要があります。

障害者宿泊施設「つくしの家」は、都営住宅の一部に合築した施設を運営者へ貸付けていますが、一層の有効利用を図るため、障害者総合支援法に基づく就労継続支援事業所としての貸付けを予定しています。

なお、福祉センターと障害者就労支援センターエールのコストが突出しているのは、コストに運営経費（委託料等）を含んでいることによるものです。

【個別施設の状況】

延床面積当たりコスト



延床面積当たりコストの4施設平均値は53,774円/㎡であり、最も高い施設は障害者就労支援センターで136,311円/㎡となっています。

なお、福祉センターと障害者就労支援センターエールのコストについては、運営経費（委託料等）を含んでいます。

③ 健康福祉施設

ア. 保健センター

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
保健センター	平成 10 年度	耐震構造	直営	二中	1,497.02	7,236	2,739.89	市有地

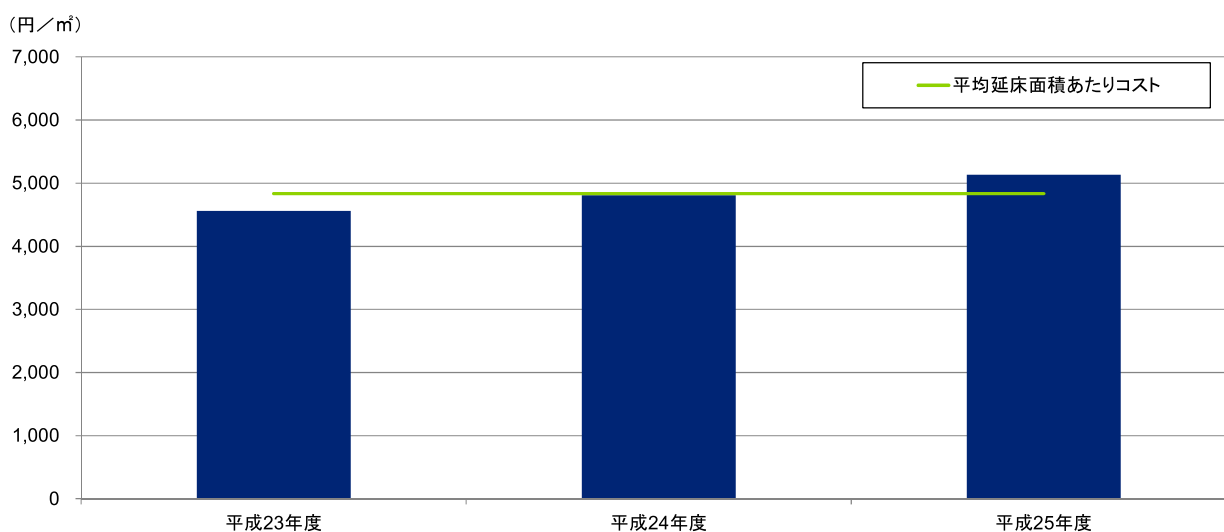
【現状に関する基本認識】

保健センターは建築後 16 年で耐震構造となっており、直ちに老朽化への対応を行う必要はないと考えられますが、今後の施設の老朽化を見据え、維持管理費の平準化が図れるよう、検討・対応を進める必要があります。

延べ床面積あたりコストが増加傾向にあるため、コストの増加要因を分析し、コストの縮減を図る必要があります。

【個別施設の状況】

延床面積当たりコスト



最近 3 年間の延床面積当たりの平均コストは 4,833 円/㎡となっています。コストは年々増加しており、平成 25 年度は平成 23 年度と比較して、12%以上増加しています。

(9) 社会教育施設

① 社会教育施設

ア. 生涯学習センター

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
生涯学習センター ゆとろぎ	平成 17 年度	耐震構造	直営	二中	9,591.01	99,594	5,911.52	市有地

【現状に関する基本認識】

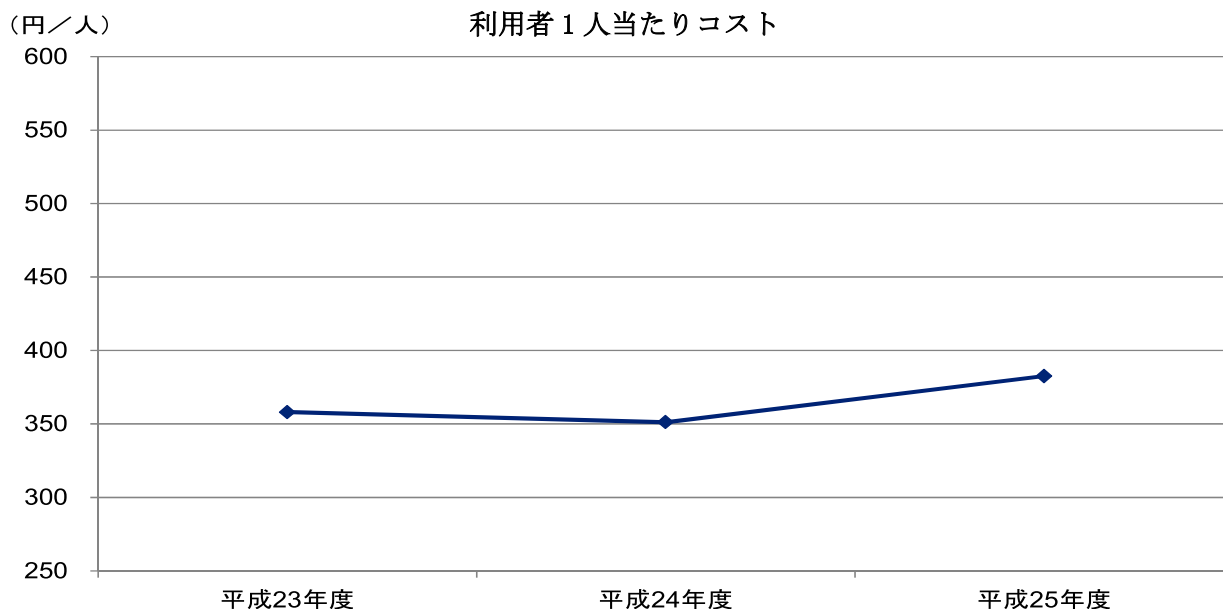
生涯学習センターゆとろぎは建築後 9 年で耐震構造となっているため、直ちに老朽化への対応を行う必要はないと考えられますが、今後の施設の老朽化を見据え、維持管理費の平準化を図れるよう、検討・対応を進める必要があります。

利用者 1 人あたりのコストが増加していることから、コストの増加要因を分析し、コストの縮減を図る必要があります。

【個別施設の状況】

1 日当たり平均利用者数（年間利用者数／年間開館日数）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	3 ヶ年平均
生涯学習センターゆとろぎ	849.0人	923.0人	839.7人	870.6人



最近 3 年間の利用者 1 人当たりコストの平均は 364 円／人となっています。平成 25 年度は利用者の割合が減少している一方でコストが増加しているため、他の年度と比較して、利用者 1 人当たりコストが増加しています。

イ. 博物館

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
郷土博物館	昭和 58 年度	耐震構造	直営	一中	1,837.63	10,067	9,603.73	市有地

【現状に関する基本認識】

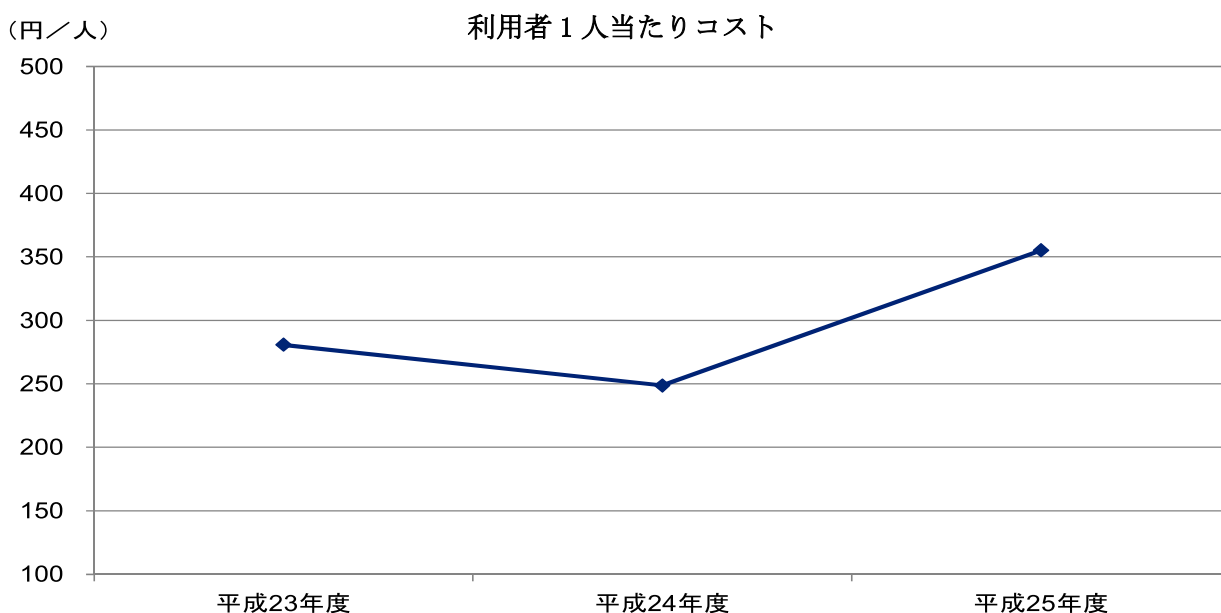
郷土博物館は建築後 31 年で耐震構造となっています。今後、施設の老朽化対策として維持管理のための経費増加が見込まれるため、経費増加を見据えた計画的な対応の検討を進める必要があります。

利用者 1 人当たりのコストが増加していることから、コストの増加要因を分析し、コストの縮減を図る必要があります。

【個別施設の状況】

1 日当たり平均利用者数（年間利用者数／年間開館日数）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	3 ヶ年平均
郷土博物館	107.2人	119.0人	102.1人	109.4人



最近 3 年間の利用者 1 人当たりコストの平均は 295 円／人となっています。利用者数は 3 年間で大きな変動はありませんが、平成 25 年度は、老朽化等による修繕により、他の年度と比較してコストが増加しています。

ウ. 図書館

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
図書館	平成 12 年度	耐震構造	直営	二中	3,279.84	19,863	2,280.25	市有地
小作台図書室	昭和 62 年度	耐震構造	直営	一中	157.50	143	504.17	市有地
図書館川崎分室	昭和 56 年度	診断未定	直営	一中	43.06	377	93.00	民有地 (有償)
図書館加美分室	昭和 45 年度	診断予定	直営	一中	537.40	46	661.00	市有地
図書館富士見平分室	昭和 56 年度	診断未定	直営	二中	42.38	225	88.72	民有地 (無償)

【現状に関する基本認識】

図書館、小作台図書室については、直ちに老朽化への対応を行う必要はないと考えられますが、今後の施設の老朽化を見据え、維持管理費の平準化が図れるよう、検討・対応を進める必要があります。

図書館川崎分室、図書館加美分室、図書館富士見平分室については、いずれも建築後 30 年以上を経過しており、今後、施設の老朽化対策として維持管理のための経費増加が見込まれるため、経費増加を見据えた計画的な対応の検討を進める必要があります。

また、各分室は耐震診断が未実施であり、安全面の確認が不十分な状況にあるため、早急な耐震状況の確認、耐震化の取組が必要です。

各施設における利用者 1 人あたりのコストは、図書館川崎分室、図書館富士見平分室が高くなっており、コストが高くなっている要因を分析し、コストの縮減を図る必要があります。

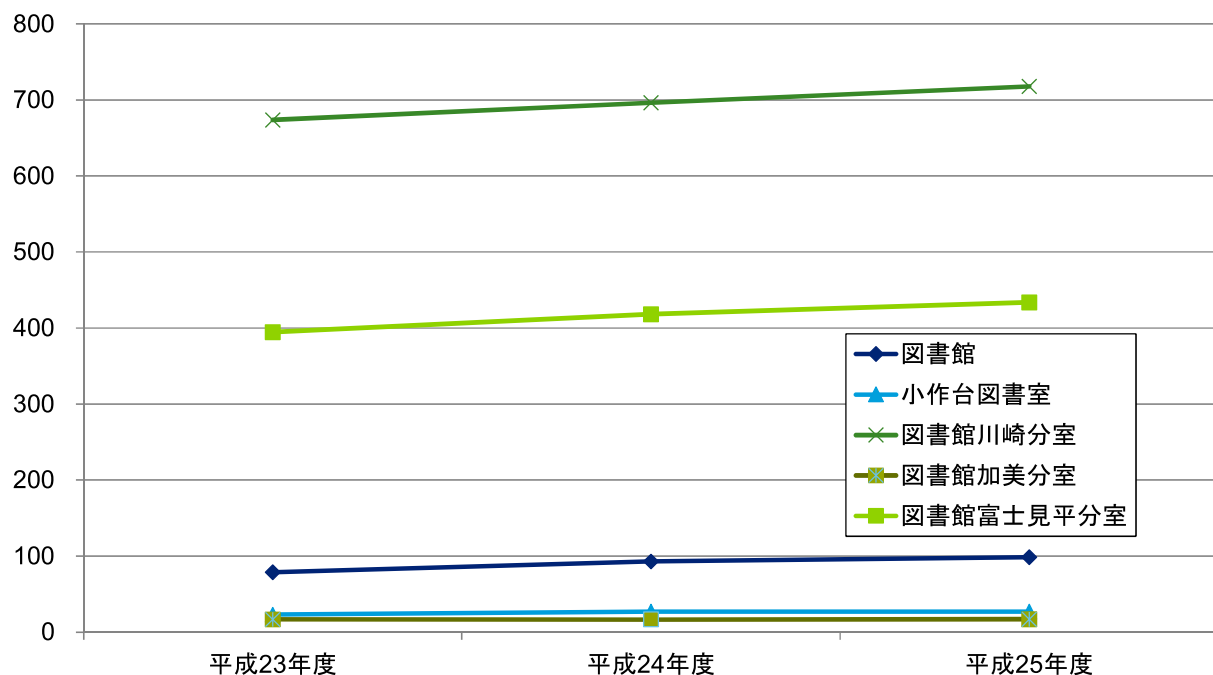
【個別施設の状況】

1 日当たり平均利用者数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	3 ヶ年平均
図書館	819.5人	728.4人	710.7人	752.9人
小作台図書室	22.2人	18.4人	18.8人	19.8人
図書館川崎分室	3.0人	3.0人	3.0人	3.0人
図書館加美分室	15.0人	15.0人	15.0人	15.0人
図書館富士見平分室	3.0人	3.0人	3.0人	3.0人

利用者 1 人当たりコスト

(円／人)



最近 3 年間の利用者 1 人当たりコストの平均は、図書館で 90 円／人、小作台図書室で 26 円／人、図書館川崎分室で 696 円／人、図書館加美分室で 17 円／人、図書館富士見平分室で 415 円／人となっています。

最近 3 年間の各図書館のコストはそれほど変動していませんが、利用者が微減していることから、利用者 1 人当たりコストが年々微増しています。

(10) 医療施設

① 医療施設

ア. 医療施設

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
平日夜間急患センター	昭和 61 年度	耐震構造	委託	二中	202.80	1,898	224.91	市有地

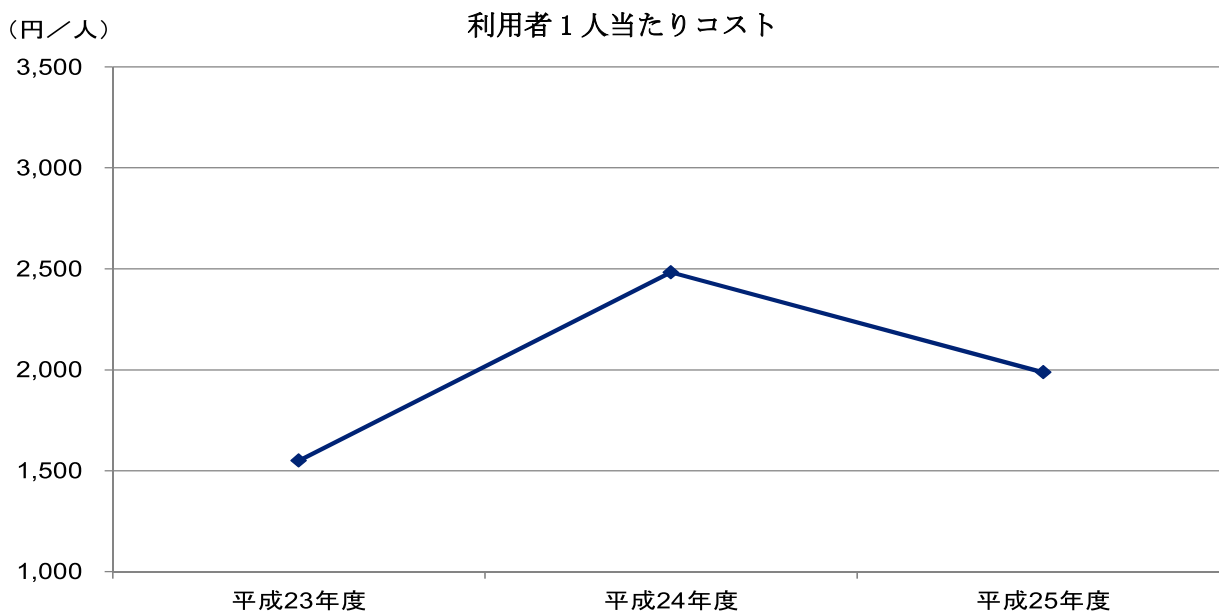
【現状に関する基本認識】

医療施設は、平日夜間急患センターのみで、建築後 28 年で耐震構造となっています。医療施設は災害発生時等に必要な施設となることから、安全性、耐久性の確保が最優先される施設といえます。今後、施設の老朽化対策として維持管理のための経費増加が見込まれるなか、優先的な対応ができるよう検討を進める必要があります。

【個別施設の状況】

1 日当たり平均利用者数（年間利用者数／年間開館日数）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	3 ヶ年平均
医療施設	3.4人	3.0人	2.8人	3.1人



最近 3 年間の利用者 1 人当たりコストの平均は 2,007 円／人となっています。平成 25 年度は利用者が減少しコストが増加したため、利用者 1 人当たりコストが増加しています。

(11) 産業系施設

① 産業系施設

ア. 産業系施設

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
産業福祉センター	昭和 46 年度	診断予定	直営	二中	1,050.15	7,181	3,703.53	民有地 (無償)
農産物直売所	平成 13 年度	耐震構造	指定 管理	一中	330.75	14,353	486.96	市有地

【現状に関する基本認識】

産業福祉センターは建築後 43 年と老朽化が進んでおり、今後、施設の老朽化対策として維持管理のための経費増加が見込まれるため、経費増加を見据えた計画的な対応の検討を進める必要があります。また、耐震診断が未実施であり、安全面の確認が不十分な状況にあるため、早急な耐震状況の確認、耐震化の取組が必要です。

農作物直売所は建築後 13 年の施設であり、直ちに老朽化への対応を行う必要はないと考えられますが、今後の施設の老朽化を見据え、維持管理費の平準化が図れるよう、検討・対応を進める必要があります。

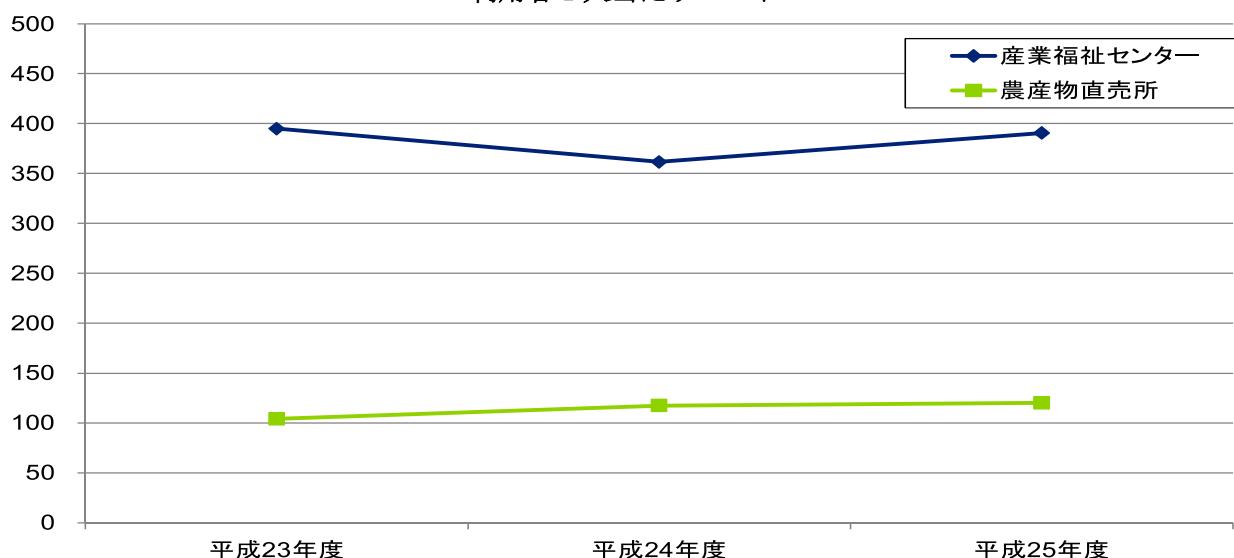
【個別施設の状況】

1 日当たり平均利用者数（年間利用者数／年間開館日数）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	3 ヶ年平均
産業福祉センター	61.0人	70.6人	67.6人	66.4人
農産物直売所	375.7人	337.4人	341.7人	351.6人

(円／人)

利用者 1 人当たりコスト



最近 3 年間の利用者 1 人当たりコストの平均は、産業福祉センターで 382 円／人、農産物直売所で 114 円／人となっており、3 年間で大きな変動は生じていません。

(12) 公営企業施設

① 公営企業施設

ア. 水道施設（水道事務所）

【施設一覧】

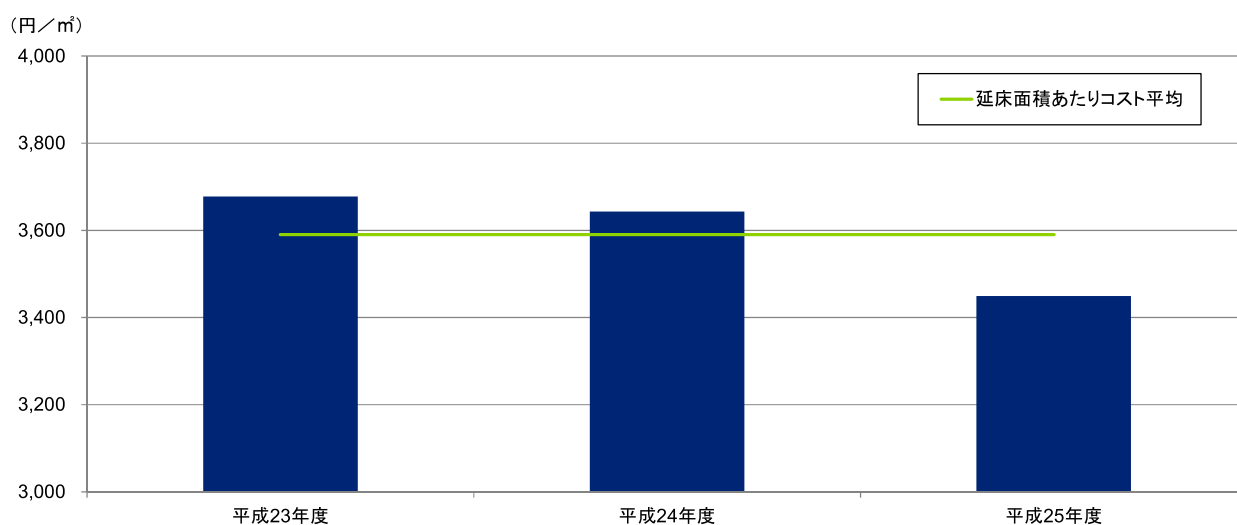
施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
水道事務所	平成4年度	耐震構造	一部委託	二中	1,730.50	6,213	4,230.08	市有地

【現状に関する基本認識】

水道事務所は、建築後22年で耐震構造であり、直ちに老朽化への対応を行う必要はないと考えられますが、今後の施設の老朽化を見据え、維持管理費の平準化が図れるよう、検討・対応を進める必要があります。

【個別施設の状況】

延床面積当たりコスト



最近3年間の延床面積当たりの平均コストは3,590円/㎡となっています。平成25年度のコストは、平成23年度と比較して6.2%以上減少しています。

(13) その他

① その他

ア. 駅公衆トイレ等

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
羽村駅東口トイレ	平成 6 年度	耐震構造	直営	二中	45.93	667	45.93	市有地
羽村駅西口トイレ	平成 19 年度	耐震構造	直営	一中	51.05	688	51.05	市有地
小作駅東口トイレ	平成 9 年度	耐震構造	直営	一中	51.01	956	51.01	市有地
小作駅西口トイレ	昭和 61 年度	耐震構造	直営	一中	42.36	636	42.36	市有地
宮の下運動公園 駐車場トイレ	平成 4 年度	耐震構造	直営	一中	13.91	2,775	1,400.00	民有地 (有償)

【現状に関する基本認識】

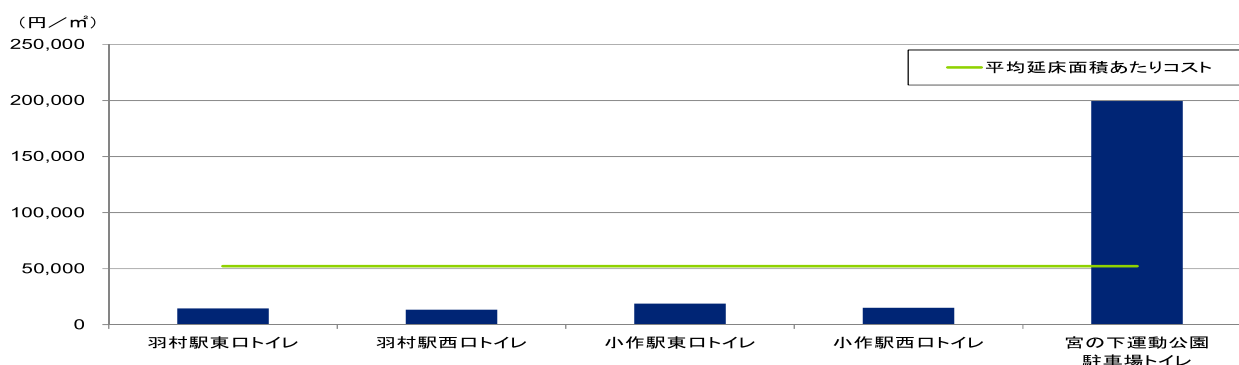
5つの施設は、いずれも耐震構造です。最も古い小作駅西口トイレが建築後28年であり、今後、施設の老朽化対策として維持管理のための経費増加が見込まれるため、経費増加を見据えた計画的な対応の検討を進める必要があります。

その他の施設は平成4年度以降に建築されており比較的新しい施設で、直ちに老朽化への対応を行う必要はないと考えられますが、今後の施設の老朽化を見据え、維持管理費の平準化が図れるよう、検討・対応を進める必要があります。

なお、宮の下運動公園駐車場トイレの延床面積あたりコストが突出していますが、これは、駐車場用地が有償の借地であるため、コストに賃借料を含むことによるものです。

【個別施設の状況】

延床面積当たりコスト



延床面積当たりのコストの5施設平均値は52,257円/㎡であり、最も高い施設は、宮の下運動公園駐車場トイレで199,528円/㎡であり、最も低い施設は羽村駅西口トイレで9,655円/㎡となっています。

なお、コストに駐車場用地の賃借料を含む宮の下運動公園駐車場トイレを除く4施設の延床面積当たりのコストの平均値は15,441円/㎡となっています。

イ. 斎場・墓地

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
富士見斎場	昭和 52 年度	診断予定	委託	二中	613.21	8,497	1,053.03	市有地
富士見霊園 (合葬式墓地)	平成 25 年度	耐震構造	委託	二中	39.72	8,937	13,870.22	市有地
富士見霊園 (休憩所)	平成 25 年度	耐震構造			49.68			

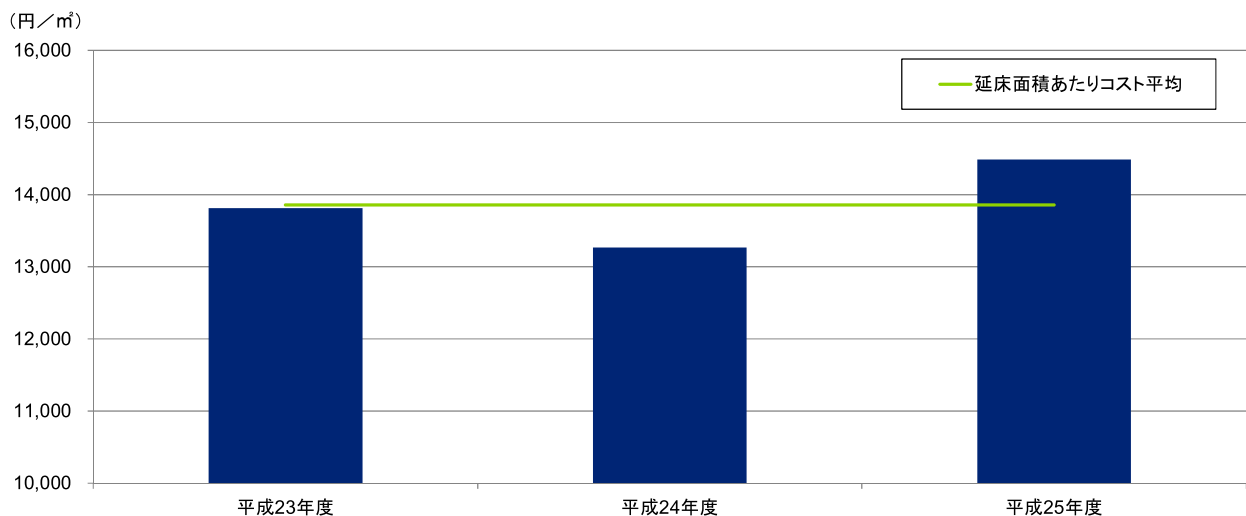
【現状に関する基本認識】

富士見斎場は建築後 37 年が経過しており、今後、施設の老朽化対策として維持管理のための経費増加が見込まれるため、経費増加を見据えた計画的な対応の検討を進める必要があります。

また、耐震診断についても未実施であり、早急な耐震状況の確認とその対応が必要です。

【個別施設の状況】

延床面積当たりコスト



富士見斎場のコストは、最近 3 年間の平均で 13,856 円/㎡となっています。平成 24 年度では、コストが減少しましたが、平成 25 年度では、修繕の実施などにより、前年度と比較して延床面積当たりのコストが 9.2%増加しています。

なお、富士見霊園の施設（合葬式墓地、休憩所）のコストは、富士見霊園全体の維持管理コストに含まれており、コストの按分が困難なことから延床面積当たりのコストは掲載していません。

ウ. その他

【施設一覧】

施設名	建築年度	耐震状況	運営方法	地区	延床面積 (㎡)	コスト (千円)	敷地面積 (㎡)	敷地所有
第1被災者一時宿泊所	昭和53年度	診断未定	直営	一中	60.76	74	215.28	市有地
第2被災者一時宿泊所	昭和53年度	耐震構造	直営	一中	60.76	54	321.40	市有地
第3被災者一時宿泊所	平成元年度	耐震構造	直営	一中	67.84	90	277.89	市有地
第4被災者一時宿泊所	平成元年度	耐震構造	直営	一中	67.84	75	576.05	市有地
自転車保管所	平成5年度	診断未定	委託	二中	191.48	727	698.57	市有地
観光案内所兼 パトロールセンター	平成18年度	耐震構造	委託	一中	83.85	0	530.12	市有地
羽村駅西口土地区画 整理事業用管理建物 (5箇所)	—	—	—	一中	758.22	85	1,875.44	市有地